Panasonic®

取扱説明書

デジタルビデオカメラ

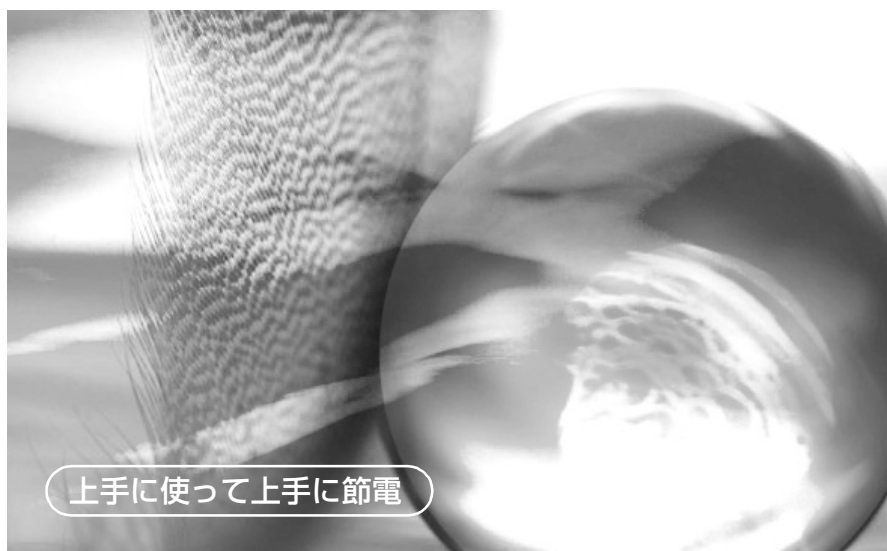
品番 NV-GS150

使う前に

撮影する

再生する

編集する

その他

保証書別添付

このたびはデジタルビデオカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」(80 ～ 85 ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

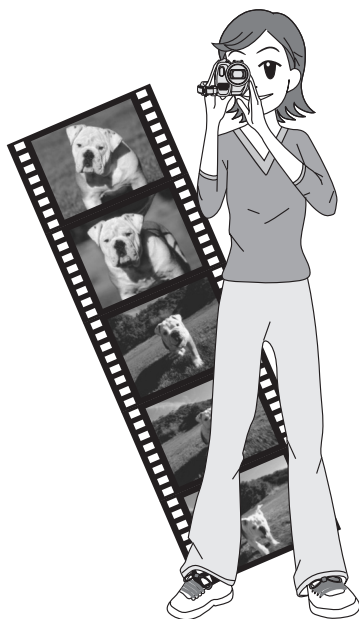
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。保証書は、「お買い上げ日·販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

LEICA DICOMAR

VQT0N35

もくじ

使う前に

はじめに

■ 英語のクイックガイドを P90 〜 97 に記載しております。外国人のお客様などは、どうぞご利用ください。

■ **The English quick guide is indicated on P90 to P97 for nonnative users of Japanese. Refer to the pages if you prefer English.**

準備する

撮影する

もくじ

撮影する（つづき）

マニュアルで撮影する

再生する

テープを再生する

カードを再生する

カードを整理する

編集する

テープを編集する

プリントする

その他

メニュー画面 / 表示画面

困ったときは

① まずお読みください！

■ 事前に必ずためし撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影（録画など）や録音されていることを確かめてください。
特に「逆光補正」などの機能をご使用の際は、設定をご確認ください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカセット（テープ）、カードの不具合で撮影（録画など）や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気を付けください

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■ 本書内の写真、イラストについて

本書内の写真は、説明のためスチル写真から合成しています。また、本書内の製品姿図・イラスト・メニュー画面などは実物と多少異なりますが、ご了承ください。画面のイラストでは、表示される文字や記号を実物より大きくして説明しています。

■ 参照ページについて

参照いただくページを（P00）で示しています。

■ 本機で使用できるカセットは

MiniDV マークの付いたデジタルビデオカセットテープです。

■ 本機で使用できるカードは

SD メモリーカードです。

- 本書では、バッテリーパックのことを「バッテリー」、SD メモリーカード /miniSD™ カードのことを「カード」と記載しています。（miniSD™ カードをお使いになるには、miniSD™ アダプターが必要です）
- SD ロゴは商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS は Apple Computer Inc. の登録商標または商標です。
- LEICA/ ライカはライカマイクロシステム IRGmbH の登録商標です。
- DICOMAR/ ディコマーはライカカメラ AG の登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ホームページではビデオの撮りかたやコツ、新製品の情報などを紹介しています。参考にご覧ください。

http://panasonic.jp

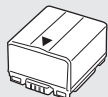
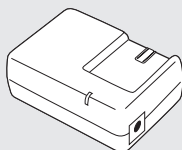
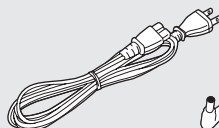
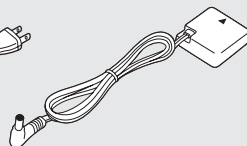
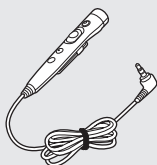
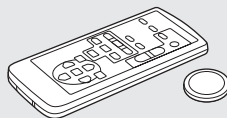
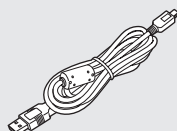
また製品のサポート情報については

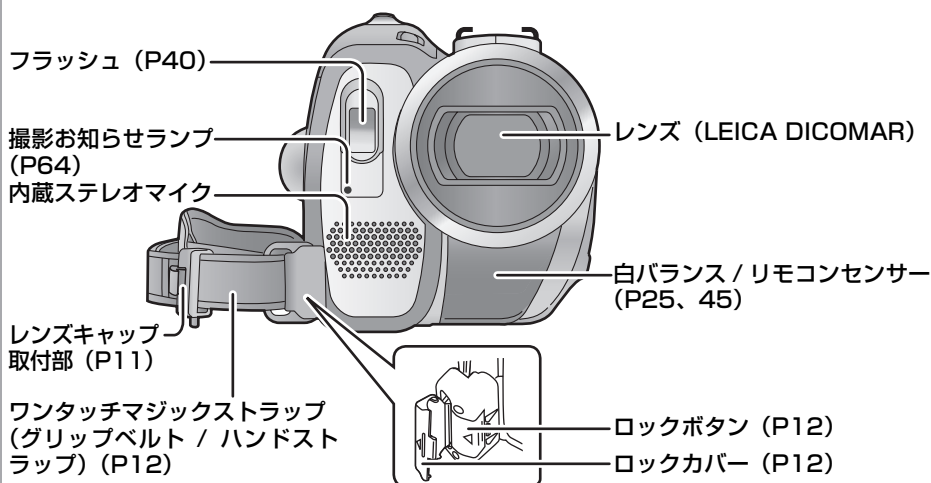
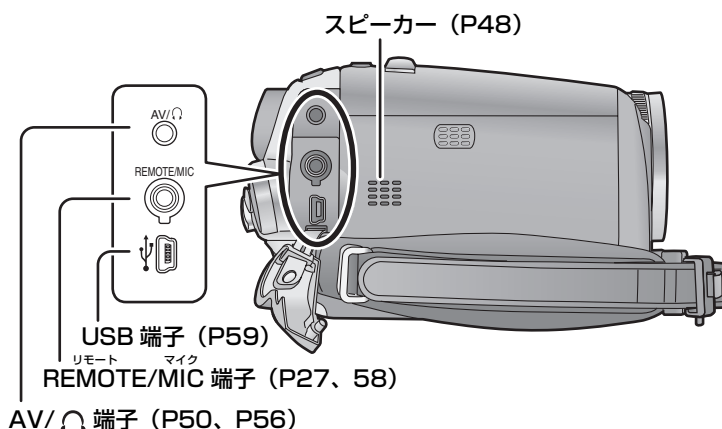
http://panasonic.jp/support

をご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

② 付属品

以下の付属品がすべて入っているかお確かめください。
記載の品番は、2004 年 11 月現在のものです。

③ 各部の名前（前面・側面）

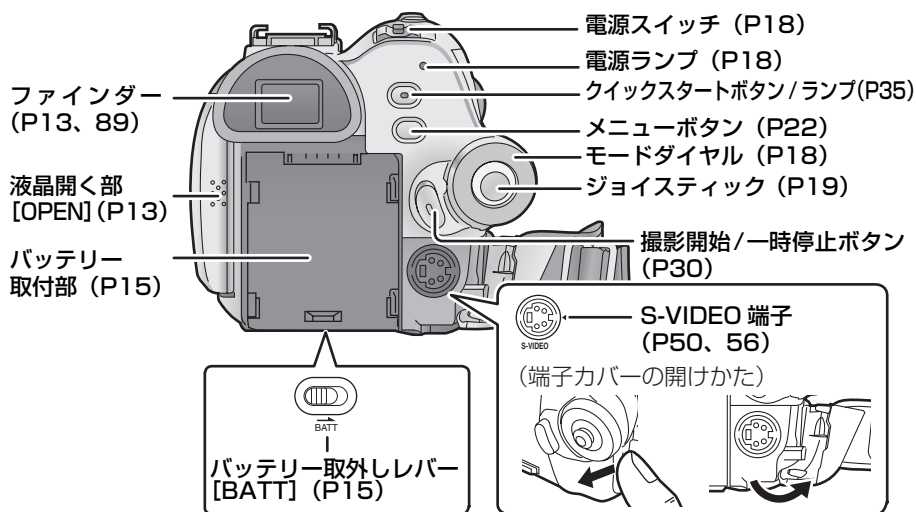
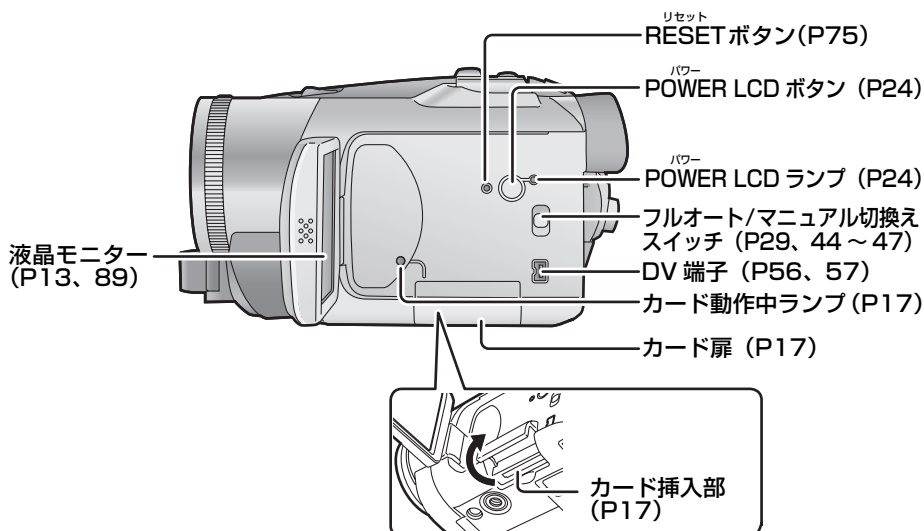
前面

側面（スピーカー側）

■ AV/ 端子について

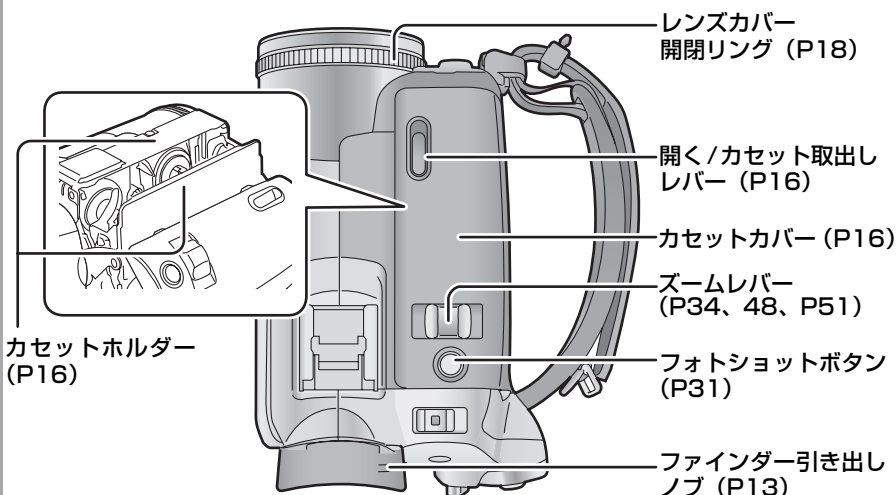
- 正常に音が出ない場合がありますので、付属の映像・音声コード、またはヘッドホン以外は接続しないでください。

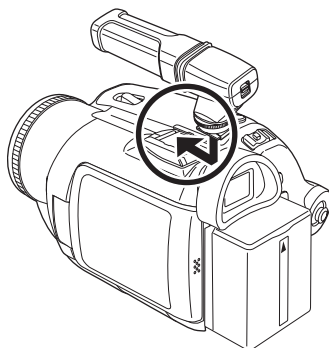
■ REMOTE/MIC 端子について

- プラグインパワー対応のマイクが外部マイクとして使えます。
- マイクによっては、「ブー」という音が出ることがあります。
  この場合はバッテリーでのご使用をおすすめします。

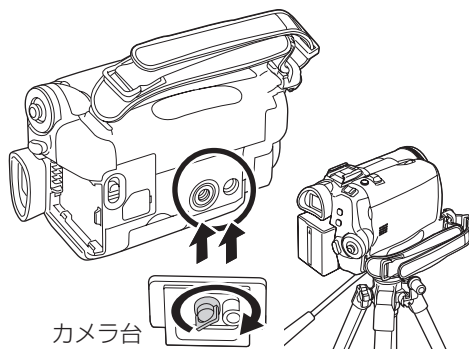
③ 各部の名前（背面・側面）

背面

側面（液晶モニター側）

③ 各部の名前（上面・その他）

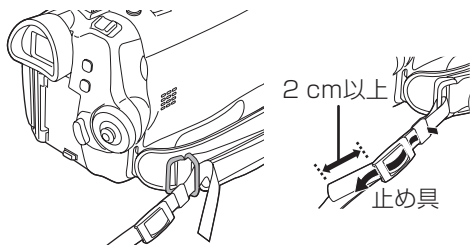
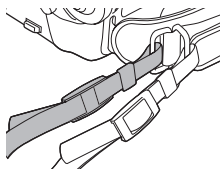
上面

ホットシュー

ステレオズームマイクロホン /VW-VMH3（別売）やビデオ DC ライト /VW-LDH3（別売）などを取り付けるところです。

● ホットシュー対応のアクセサリー使用時は、本機から電源などを供給します。

三脚取付穴

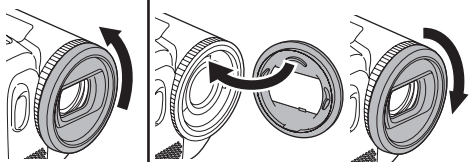
三脚 /VW-CT45（別売）を取り付けるための穴です。（取り付けかたは、三脚の説明書をお読みください）

● 三脚使用時は、フリースタイルリモコンで操作すると便利です。（使わないときは、クリップをグリップベルトに挟んでおくと便利です。ポケットなどに取り付けたまま移動するときは、三脚の転倒にお気を付けください）
● 三脚使用時は、カード扉を開くことができません。あらかじめカードを入れてから三脚を取り付けてください。（P17）

ショルダーベルト取付部

ショルダーベルト /VW-CMD2（別売）を取り付けるところです。

- 取付部にベルトをとおしてから、外れないように止め具にとおしてください。止め具から 2 cm 以上出しておいてください。

- もう一方も同様に取り付けてください。

レンズフード

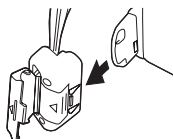
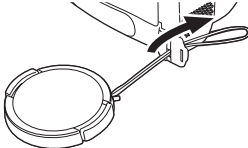
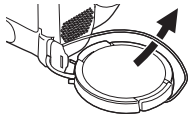
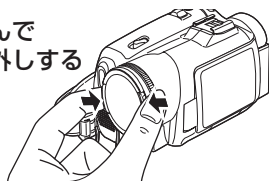
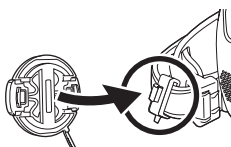
外すときは反時計方向に回し、付けるときはレンズフードの凸部をはめ込んでから、時計方向に回します。

外す　付ける

- フィルターキット /VW-LF37W（別売）の ND フィルターや MC プロテクターは、レンズフードの前部に取り付けてください。また、それ以外のものは取り付けないでください。(フィルターキットのレンズキャップは除く)
- テレコンバージョンレンズ /VW-LT3714M2（別売）やワイドコンバージョンレンズ /VW-LW3707M3（別売）は、レンズフードを外してから取り付けてください。
- NDフィルターとテレコンバージョンレンズなどを2枚重ねて取り付けた場合、ズームをW側にすると、四隅が暗くなる場合があります。(ケラレ)
- レンズフードにはレンズカバーが内蔵されています。

レンズキャップ取付部

フィルターキット /VW-LF37W（別売）に付属しているレンズキャップを取り付けるところです。
ND フィルターや MC プロテクターをレンズフードの前部に取り付けた場合は、本機を使用しないときにレンズ面の保護のため、レンズキャップを付けておいてください。

■ ひもを付ける

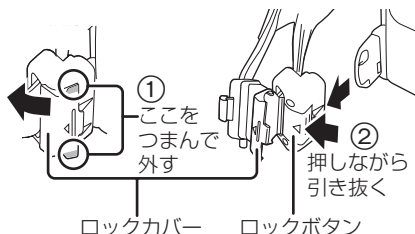
1 グリップベルトを外す

2 穴にひもをとおす

3 ひもの輪にキャップをとおす

■ レンズフードに付ける / 外す

■ レンズキャップ取付部に付ける

- ハンドストラップにしているときは、取り付けられません。

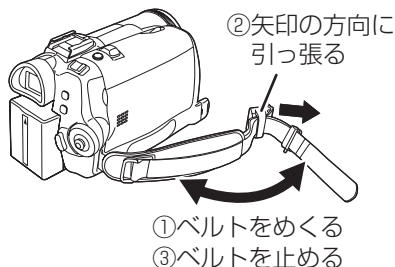
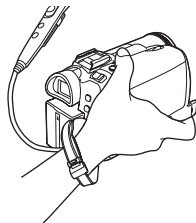
使う前に

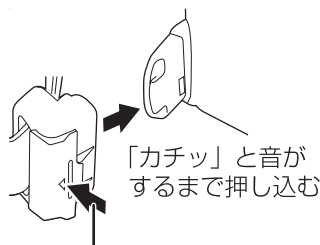
① ワンタッチマジックストラップを使う —

ハンドストラップとして使う

ハンドストラップにすると、本機の持ち運びに便利です。

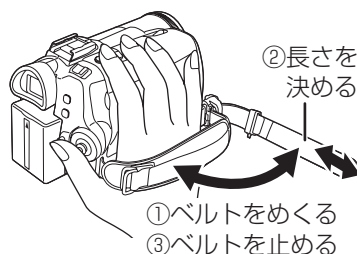
1 本機から外す

- 本機を両手でしっかりと押さえながら外してください。
- 外したあとは、ロックカバーを元に戻しておいてください。

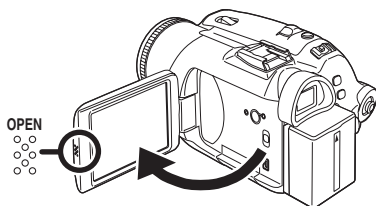
2 ベルトの長さを調整する

3 ストラップに手をとおす

- フリースタイルリモコンで操作すると便利です。
- マイクやセンサー部を手でふさがないように持ってください。(P28)

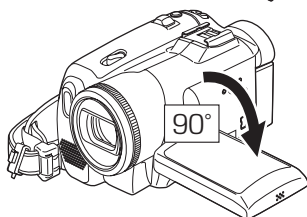
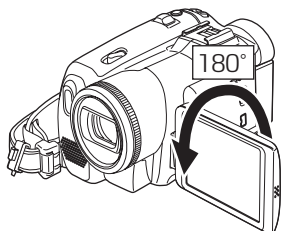
■ グリップベルトに戻すとき

- ロック外れ等を防止するために、ロックカバーは矢印の方向に押さえ、確実に装着してください。

グリップベルトとして使う

手の大きさに合わせて調整してください。

ベルトの長さ、パットの位置を調整する

②液晶モニターを使う

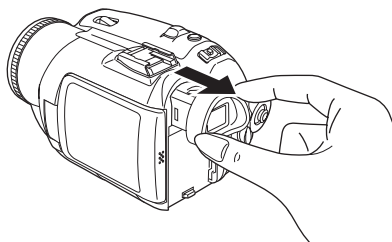
1 **[OPEN] 部に指をかけて、液晶モニターを開く**

- ファインダーは消灯します。
- 最大 90°まで開きます。

2 **角度を調整する**

- レンズ方向に180°、ファインダー方向に90°回転します。

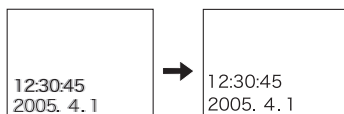
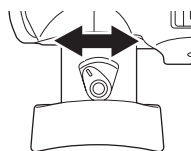
- メニューで液晶モニターの明るさ、色の濃さを調整できます。(P24)
- 無理に開いたり回したりすると、本機に傷が付いたり故障する場合があります。
- カード扉が閉じていることを確認してから、確実に閉じてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ 180°回転させたとき（対面撮影時）は、液晶モニターとファインダーが同時に点灯します。

③ファインダーを使う

ファインダーを引き伸ばす

ファインダー引き出しノブをつまんで、引き伸ばす

画像の見えかたを調整する

視度調整レバーを動かして調整する

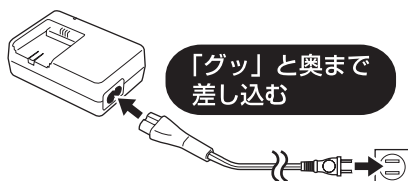
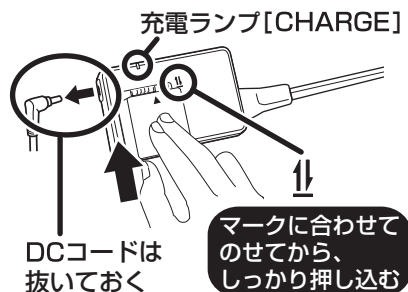
12:30:45 2005. 4. 1	→	12:30:45 2005. 4. 1

- メニューでファインダーの明るさを調整できます。(P24)

使う前に

④ バッテリーを充電する

お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。

- DC コードは AC アダプターから抜いておいてください。DC コードがつながっていると、バッテリーの充電はできません。

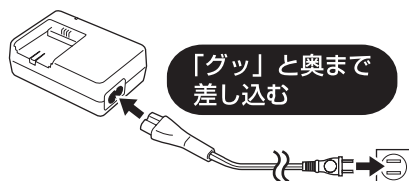
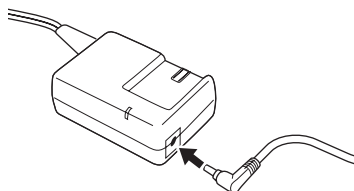
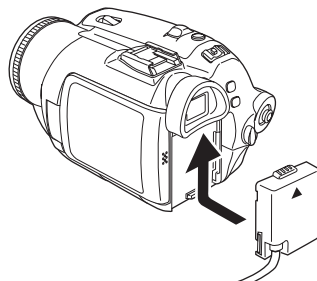
1 電源コードをつなぐ

2 バッテリーを付ける

■ 充電ランプ［CHARGE］

点灯 ：充電中
消灯 ：充電完了
点滅 ：下記参照

■ 充電ランプが点滅したときは

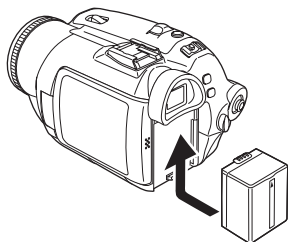
- バッテリーが過放電（極端に放電した状態）しています。しばらくすると点灯し、通常の充電になります。
- バッテリーの温度が高過ぎる、あるいは低過ぎます。充電時間が通常よりも長くなります。

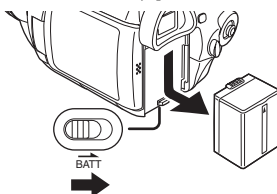
⑤ 電源コンセントにつないで使う

1 電源コードをつなぐ

2 DC コードを AC アダプターの DC 出力端子に差し込む

3 DC コードをバッテリー取付部に押しあて、「カチッ」と音がするまで上げる

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

⑥ バッテリーを付ける（外す）

バッテリーを付ける

バッテリー取付部に押しあて、「カチッ」と音がするまで上げる

バッテリーを外す

バッテリー取外しレバー [BATT] をスライドさせながら外す

● バッテリーを落下させないように手で支えてください。

⑦ 充電時間と撮影可能時間（2004 年 11 月現在）

下表は常温（温度 25 ℃ / 湿度 60%）での時間です。高温、低温時は充電時間が長くなりますので、めやすにしてください。

● 間欠撮影可能時間とは、撮影 / 停止などを繰り返したときにテープに記録できる時間です。実際はこれより短くなることがあります。

バッテリー品番	電圧 / 容量	充電時間	連続撮影可能時間	間欠撮影可能時間
付属バッテリー / VW-VBD120（別売）	7.2 V/ 1150 mAh	約 2 時間 25 分	約2時間 15 分（約2時間 5 分）	約 1 時間 10 分（約 1 時間 5 分）
VW-VBD140（別売）	7.2 V/ 1360 mAh	約 2 時間 45 分	約 2 時間 40 分（約 2 時間 30 分）	約 1 時間 20 分（約 1 時間 15 分）
VW-VBD210（別売）	7.2 V/ 2040 mAh	約 3 時間 55 分	約 4 時間（約 3 時間 45 分）	約 2 時間（約 1 時間 55 分）
VW-VBD7（別売）	7.2 V/ 5500 mAh	約 11 時間 20 分	約 11 時間（約 10 時間 5 分）	約 5 時間 30 分（約 5 時間 5 分）
VW-VBD070（別売）	7.2 V/ 680 mAh	約 1 時間 30 分	約 1 時間 20 分（約 1 時間 15 分）	約 40 分（約 40 分）

ファインダー使用時 [（　）内は液晶モニター使用時]

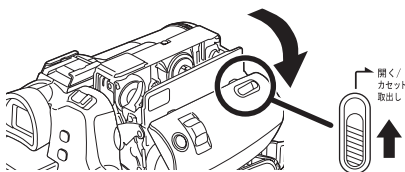
● 以下のような場合は、撮影可能時間が短くなります。
  - 0Lux カラーナイトビュー（P36）や対面撮影（P35）時など、ファインダーと液晶モニターを同時に使用しているとき
  - POWER LCD ボタンを押して、液晶モニターの画面を明るくして使用しているとき
  - ホットシュー対応のアクセサリー（ステレオズームマイクロホン、ビデオ DC ライトなど）を使用しているとき

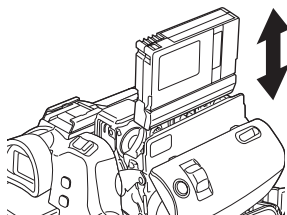
● 長時間（連続撮影：2 時間以上、間欠撮影：1 時間以上）撮影する場合は、付属のバッテリー、VW-VBD120、VW-VBD140、VW-VBD210 または VW-VBD7 のご使用をおすすめします。

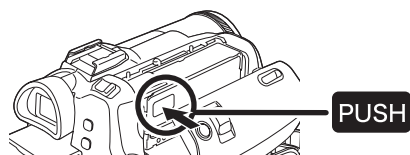
● 使用後や充電後はバッテリーが温かくなります。また使用中はビデオカメラ本体も温かくなりますが、異常ではありません。

● バッテリーの残量が少なくなるにつれ、[▮▮▮▮]→[▮▮▮]→[▮▮]→[▮]→[　]と表示が変わります。容量がなくなると、[▮]（[　]）が点滅します。

⑧ カセットを入れる（出す）

1 「開く / カセット取出し」レバーをずらしたままカセットカバーを開く

- 最後まで開くと、カセットホルダーが出てきます。

2 カセットホルダーが開いてから、カセットを入れる（出す）

- 入れるときはカセットを図の向きにして、奥まで確実に入れてください。
- 取り出すときは、まっすぐ抜き取ってください。

3 「PUSH」部分を「カチッ」と音がするまで押して、カセットホルダーを閉じる

4 カセットホルダーが完全に収納されてから、カセットカバーを閉じる

- 使用後は、必ず始端まで巻き戻してからカセットを取り出し、ケースに入れて立てて保管してください。（P88）
- つゆつき表示が出ていない状態で、レンズやビデオカメラ本体につゆが付いているときは、ヘッドやテープにもつゆが付く可能性がありますので、カセットカバーを開けないでください。（P76）

■ カセットホルダーが出てこないときは

- カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開く。
- バッテリーが消耗していないか確認する。

■ カセットホルダーが納まらないときは

- 電源スイッチを入れ直す。
- バッテリーが消耗していないか確認する。

■ カセットを出し入れするときは

- カセットホルダーの動作中は、「PUSH」表示部以外は触らないでください。
- 使用途中のカセットを入れたときは、ブランクサーチ機能（P31）を使って、続けて撮影する部分を探してください。特に、一度使用したカセットに重ね撮りする場合、必ず続けて撮影する部分を探してから撮影してください。
- カセットカバーを最後まできちんと閉じてお使いください。
- カセットカバーを閉じるときは、コードなどを挟み込まないようにお気を付けください。

■ 使用できる当社のカセットについて（2004 年 11 月現在）

カセット品番	使用できる時間	
	SP	LP
AY-DVM30	30 分	45 分
AY-DVM60	60 分	90 分
AY-DVM80	80 分	120 分

SP（標準）: Standard Play（スタンダード プレイ）の意味です。

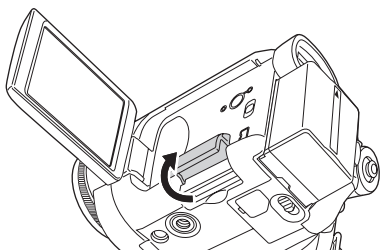
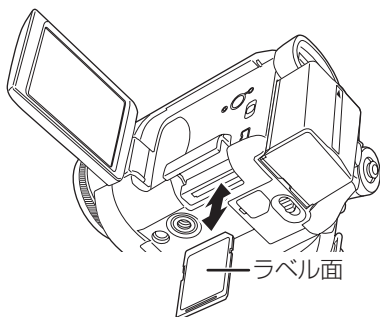
LP（長時間）: Long Play（ロング プレイ）の意味です。（P29）

■ カセットの誤消去防止つまみについて

- 撮影後は、誤って撮影内容を消さないために、誤消去防止つまみを［SAVE］側（開く）にしておくと、撮影ができなくなります。［REC］側に戻すと、撮影が可能になります。

❾ カードを入れる（出す）

● **カードの出し入れは、必ず電源を「切」にしてから行ってください。**
電源「入」の状態でカードを出し入れすると、本機の誤動作やカード内のデータの破壊につながる恐れがあります。

1 液晶モニターを開いて、カード扉を開く

2 カード挿入部にカードを入れる（出す）

- 入れるときはラベル面を図の方向に向けて、「カチッ」と音がするまでまっすぐ押し込む。
- 出すときは、カードの中央部を押し込んで、まっすぐ引き抜く。

3 カード扉を閉じる

■ カードについて

● カード裏の接続端子部分に触れないでください。

● カードを他機やパソコンでフォーマットしないでください。使用できなくなる場合があります。

● 電気ノイズや静電気、本機やカードの故障などによりカードのデータが壊れたり、消失することがありますので、大切なデータはUSB 接続ケーブル、PC カードアダプターやUSB リーダーライターなどを使って、パソコンなどにも保存してください。

■ カード動作中ランプについて

● カードアクセス（認識、記録、再生、削除など）中に点灯します。

● 点灯中に下記の動作を行わないでください。カードやカードの内容が破壊されたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。
- カード扉を開けてカードを抜き差しする
- 電源スイッチやモードダイヤルを操作する

■ SD メモリーカード

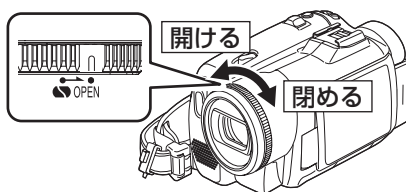
● SD メモリーカードのラベルに記載されているメモリー容量は、著作権の保護･管理のための容量と、ビデオカメラやパソコンなどで通常のメモリーとして利用可能な容量の合計です。

■ SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチについて

● SD メモリーカード本体には書き込み禁止スイッチが付いています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、フォーマットはできなくなります。戻すと可能になります。

⑩ レンズカバーを開ける（閉める）

- レンズ面の保護のため、使用しないときはレンズカバーを閉めておいてください。

レンズカバー開閉リングを回す

⑪ 電源を入れる(切る)

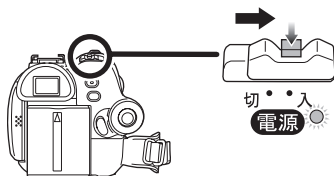
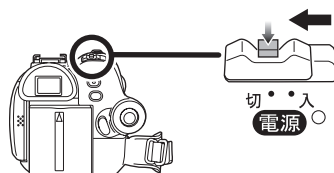
- 電源を入れる前にレンズカバーを開けてください。
  閉めたまま電源を入れると、オートホワイトバランス（P79）が正しく合いません。

電源スイッチの青いボタンを押しながらスライドさせる

入れる

- 電源ランプが点灯します。

切る

切
入
電源

- 電源ランプが消灯します。

⑫ モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、図の位置に希望のモードを合わせる

■ モードについて

テープ撮影モード (P30)
テープに動画を撮影します。
（撮影中に、カードに静止画を同時記録することもできます）（P31）

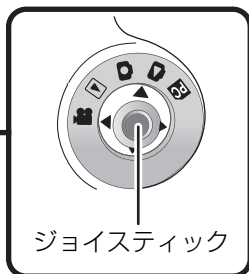
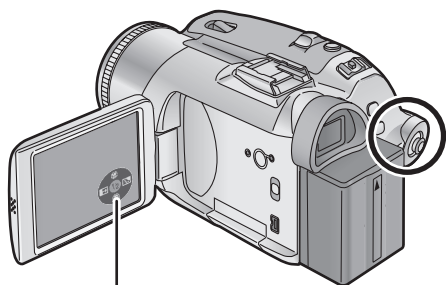
テープ再生モード (P48)
テープの映像を再生します。

カード記録モード (P32)
カードに静止画を記録します。

カード再生モード (P51)
カードに記録された静止画を再生します。

PC PC 接続モード
カードの画像をパソコンで見たり、取り込んだりするときに使います。
パソコンとの接続については、別冊のパソコン接続編取扱説明書をご覧ください。

⑬ ジョイスティックの使いかた

本機は片手でも操作しやすいように、撮影機能の選択や再生操作などにジョイスティックを使います。
画面を見ながらお使いください。

表示される操作アイコンやメニュー画面を操作する

ジョイスティックの基本操作について

上下左右で選択

中央で決定

ジョイスティックを上下左右に動かして項目やファイルを選択し、中央を押して決定します。
- メニュー画面の操作について（P22）
- 再生ファイルの選択について（P51）

撮影機能を使う

1 テープ撮影モードまたはカード記録モードにする

2 ジョイスティックの中央を押すと、液晶モニターに操作アイコンが表示される

- 押すごとに表示が切り換わります。

3 ジョイスティックを上下左右にたおして選ぶ

上下左右で操作

再生する

1 テープ再生モードまたはカード再生モードにする

2 液晶モニターに操作アイコンが表示されてから、ジョイスティックを上下左右にたおして操作する

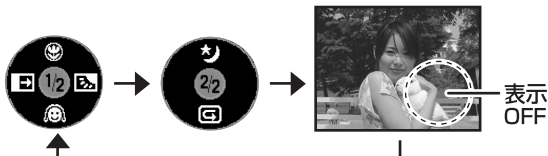
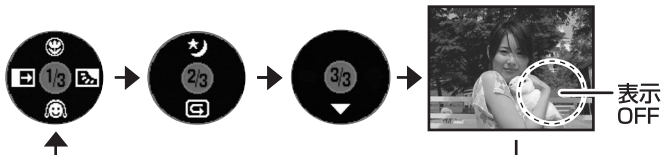
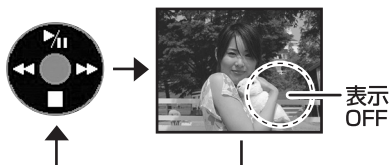
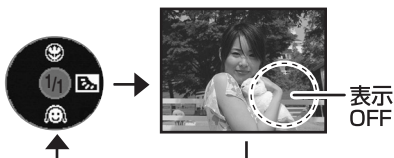
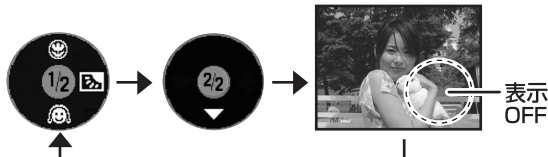
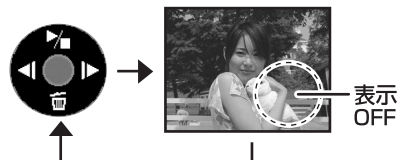
自動的に表示されます

上下左右で操作

⑬ ジョイスティックの使いかた（つづき）

モードごとの機能の選択について

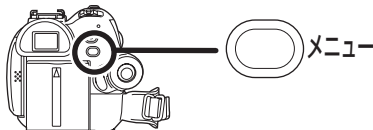
ジョイスティックの中央を押すと、画面に操作アイコンが表示されます。
（テープ再生モードまたはカード再生モードでは、操作アイコンが自動的に表示されます）
押すごとに下記のように表示が切り換わります。

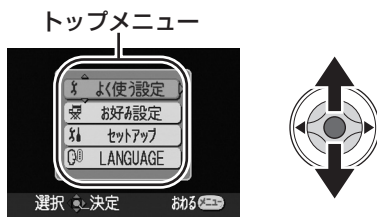
テープ撮影モード
（「フルオート」の場合）

テープ撮影モード
（「マニュアル」の場合）

テープ再生モード

カード記録モード
（「フルオート」の場合）

カード記録モード
（「マニュアル」の場合）

カード再生モード

モードごとの操作アイコン一覧表

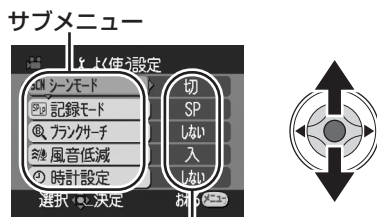
モード	アイコン			方向	機能
テープ撮影モード	1/2 (1/3)			上	テレマクロ (P38)
				下	美肌モード (P37)
				左	フェード (P38)
				右	逆光補正 (P36)
	2/2 (2/3)			上	カラーナイトビュー / 0Lux(ゼロルクス)カラーナイトビュー (P36)
				下	撮影チェック (P31)
	(3/3)			下	白バランス (P45)
					シャッター速度 (P47)
					明るさ(絞り・ゲイン)(P47)
		(「マニュアル」時のみ)	− ＋	左右	白バランスモードの選択やマニュアル調整
テープ再生モード	−			上	再生 / 一時停止 (P48)
				下	停止 (P48)
				左	巻き戻し（再生）(P48)
				右	早送り（再生）(P48)
カード記録モード	1/1 (1/2)			上	テレマクロ (P38)
				下	美肌モード (P37)
				右	逆光補正 (P36)
	(2/2)	テープ撮影モードの（3/3）と同じ			
カード再生モード	−			上	スライドショーの開始 / 停止 (P51)
				下	ファイル削除 (P52)
				左	前の画面を表示 (P51)
				右	次の画面を表示 (P51)

⑭メニューを設定する

● 各メニューについては「メニュー一覧」をご覧ください。(P62 ～ P63)

1 「メニュー」ボタンを押す

● メニュー設定画面が表示されます。(モードダイヤルの位置によって、表示されるメニューは変わります)
● メニュー表示中は操作モードを切り換えないでください。

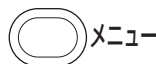
2 ジョイスティックの上下でトップメニューを選ぶ

3 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す

4 ジョイスティックの上下でサブメニューを選ぶ

5 ジョイスティックを右にたおす、または中央を押す

6 ジョイスティックの上下で項目を選ぶ

7 中央を押して決定する

【メニューの設定を終了するには】

「メニュー」ボタンを押す

【前の画面に戻るには】

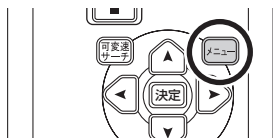
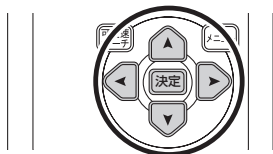
ジョイスティックを左にたおす

■ メニューの設定について

● 撮影 / 録画中にメニューは表示されません。また、メニュー表示中に撮影 / 録画はできません。

ワイヤレスリモコンで操作する

メニュー画面の変化は本体のボタンを使ったときと同じです。

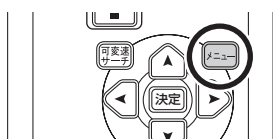
1 メニューボタンを押す

2 メニュー項目を選ぶ

- 本体のジョイスティックのかわりに方向ボタン（▲▼◀▶）、決定ボタンを使います。

3 メニューボタンを押して設定を終了する

⑮ 言語設定

画面に表示される言語を変更できます。

メニュー操作する（左ページ）

「LANGUAGE」→
「日本語」または「English」

⑯ 時計設定

画面に表示される年月日/時刻が合っていないときは、合わせ直してください。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 メニュー操作する（左ページ）

「 よく使う設定」→「 時計設定」→「する」

2 合わせる項目(年/月/日/時/分)をジョイスティックの左右で選択し、上下で数字を合わせる

- 「年」は2000 → 2001 → … →2089 → 2000 と変わります。
- 「時間」は 24 時間表示です。

3 中央を押して決定する

- 秒は 0 から始まります。

■ 時計設定について

- 時計設定は、内蔵日付用電池を使って記憶させています。
- 内蔵時計は誤差が生じますので、撮影前に時間が合っているか確認してください。
- 電源を入れたときに、「」あるいは「−−」表示が出るときは、内蔵日付用電池が消耗しています。下記の方法で充電したあと、時計設定をしてください。

■ 内蔵日付用電池を充電する

- 本機にACアダプターをつなぐかバッテリーを取り付けると、内蔵電池が充電されます。約 24 時間そのままにしておくと、約 6ヵ月間記憶することができます。（電源スイッチが「切」になっていても充電はされています）

⑰ 液晶モニター／ファインダーを調整する

液晶モニター／ファインダーの明るさや色の濃さを調整する

1 メニュー操作する（P22）

「セットアップ」→「液晶調整」または「EVF 明るさ」→「する」

2 調整する項目をジョイスティックの上下で選択し、左右で調整する

- バー表示が移動します。

「液晶調整」の項目

☼：液晶モニターの明るさ

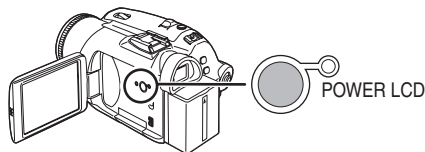
：液晶モニターの色の濃さ

「EVF 明るさ」の項目

EVF☼：ファインダーの明るさ

- LCD＝液晶モニター（Liquid Crystal Display）のことです。
- EVF＝ファインダー（Electric View Finder）のことです。

- ファインダーの明るさを調整するときは、液晶モニターを閉じてファインダーを点灯させてください。
- 液晶モニターをレンズ方向へ 180°回転させたときは、液晶調整できません。
- 調整内容は、実際に記録される映像には影響しません。

■ 液晶モニター全体を明るくするには POWER LCD ボタンを押す

- ランプが点灯します。
- 液晶モニターが通常より約 2 倍明るくなり、見やすくなります。

- 再度押すとランプが消灯し、元に戻ります。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- AC アダプター使用時は、電源を入れると自動的にランプが点灯し、画面が明るくなります。

液晶モニターの画質を変更する（液晶 AI）

メニュー操作する（P22）

「セットアップ」→「液晶 AI」→「ダイナミック」または「ノーマル」

ダイナミック：
明暗がはっきりした、メリハリのある液晶画質になります。

ノーマル：
標準の液晶画質になります。

- 「ダイナミック」に設定すると、液晶モニターが撮影シーンに応じて最適なコントラスト・明るさに設定されます。輝き感のある、引き締まった映像を表示します。
- 効果は撮影シーンによって異なります。
- ファインダーの画質は変わりません。
- 液晶モニターが明るくなっているとき（POWER LCD ランプが点灯しているとき）は、自動的に「ダイナミック」の効果になり、設定は変更できません。
- 実際に記録される映像には影響しません。
- 液晶モニターをレンズ方向へ 180°回転させたとき、液晶 AI は「ノーマル」の効果になります。

⑱ リモコンを使う

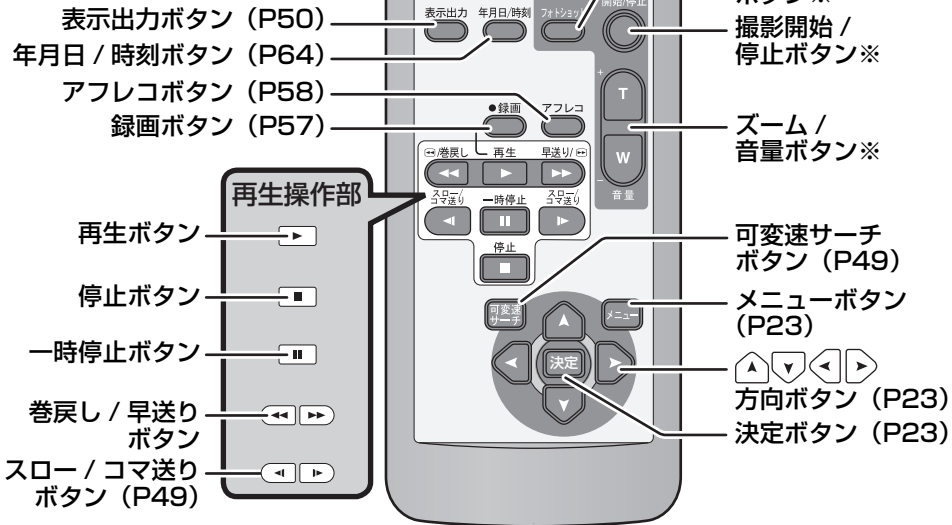
ワイヤレスリモコン

※撮影操作 / 音量調整部
本体のボタンと同じ働きをします。

- 表示出力ボタン（P50）
- 年月日 / 時刻ボタン（P64）
- アフレコボタン（P58）
- 録画ボタン（P57）
- フォトショットボタン※
- 撮影開始 / 停止ボタン※
- ズーム / 音量ボタン※
- 可変速サーチボタン（P49）
- メニューボタン（P23）
- ▲▼◀▶ 方向ボタン（P23）
- 決定ボタン（P23）

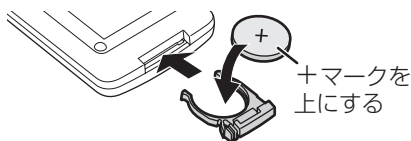
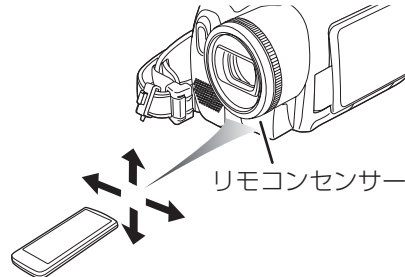
再生操作部

- 再生ボタン
- 停止ボタン
- 一時停止ボタン
- 巻戻し / 早送りボタン
- スロー / コマ送りボタン（P49）

ビデオカメラ　撮影　フォトショット　開始/停止　表示出力　年月日/時刻　●録画　アフレコ　/巻戻し　再生　早送り/　スロー/コマ送り　一時停止　スロー/コマ送り　停止　音量　T　W　可変速サーチ　メニュー　決定

■ コイン電池（付属）を入れる

1 ホルダーを引き抜く

ここを押しながら引き抜く

2 電池を入れて、ホルダーを戻す

■ リモコンが使える範囲

- リモコンセンサーに対して、
  距離　：約 5 m 以内
  角度　：上に約 10°、下左右に約 15°

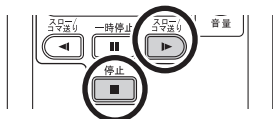
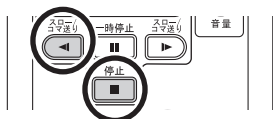
⑱ リモコンを使う（つづき）

リモコンモードの設定

同時に2台のビデオカメラをお使いになる場合、1台のビデオカメラとワイヤレスリモコンの設定を「VTR1」に、もう1台のビデオカメラとワイヤレスリモコンを「VTR2」に設定すると、2台の間でのリモコン誤作動を防ぐことができます。（お買い上げ時の設定は「VTR1」です。またコイン電池を交換すると、設定は「VTR1」になります）

1 メニュー操作する（P22）
（ビデオカメラの設定）

「セットアップ」→「リモコン設定」→「VTR1」または「VTR2」

2 ワイヤレスリモコンを設定する
スロー / コマ送りボタン（右）と停止ボタンを同時に押す（VTR1）

スロー / コマ送りボタン（左）と停止ボタンを同時に押す（VTR2）

■ コイン電池について

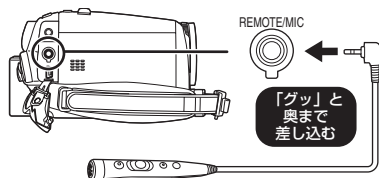
- ワイヤレスリモコンを本機のリモコンセンサーの近くで操作しても動作しない場合は、コイン電池（CR2025）が消耗しています。新しい電池と交換してください。（電池の寿命は使用頻度にもよりますが、約1年です）
- コイン電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。

- ビデオカメラとワイヤレスリモコンのリモコンモードが違うときは、画面に「リモコン」（電源を入れたあとの最初の操作時のみ、「リモコンの設定を確認してください」（P68））と表示が出て操作ができません。同じリモコンモードに設定してください。
- リモコンの操作範囲は室内での使用時の値です。屋外やリモコンセンサー部に強い光が当たっているときは、この範囲内であっても操作できない場合があります。
- 近距離（約1m以内）で操作するときは、リモコンセンサー横（液晶モニター側）からもリモコン操作ができます。

フリースタイルリモコン

ハイアングルからローアングルまで様々な角度から撮影でき、また三脚使用時にも便利です。右手で操作が苦手な左利きの方も、より使いやすくなります。
(フリースタイルリモコンのコードの長さ：約93 cm)

■ フリースタイルリモコンを本機に付ける

フリースタイルリモコンを REMOTE/MIC 端子に「グッ」と奥まで差し込む

■ マイクを切り換えて使う

フリースタイルリモコンのマイク切換えボタン［TALK］を押すと、本体の内蔵マイクとリモコンのマイクを切り換えられます。

- ボタンを押している間「🎤」が表示され、マイクとして使えます。
- マイク部を口元から 10 cm 程度離して使うことをおすすめします。

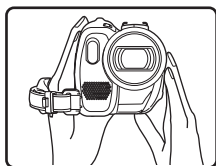
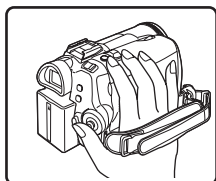
■ クリップについて

クリップ（裏側にあります）をポケットなどに取り付けた状態で移動されるときは、三脚の転倒、机などからの本体の落下にお気を付けください。

- REMOTE/MIC 端子の奥まできちんと差し込まれていないと、正しく操作できない場合があります。
- 使う前にもう一度、プラグが奥まで差し込まれていることを確認してください。

撮影前の確認

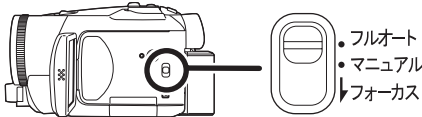
以下の項目を確認して、大切な撮影（結婚式など）は必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影（録画など）や録音されていることを確かめてください。

■ 基本的な構えかた

■ チェックポイント

- レンズカバーを開ける（P18）
  （閉じたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ず開いてから電源を入れてください）
- グリップベルトの調整（P12）
- 液晶モニター / ファインダーの調整（P13、24）
- 電源の準備（P14 ～ 15）
- カセット / カードを入れる（P16 ～ 17）
- 年月日 / 時刻の設定（P23）
- リモコンを用意する（P25）
- SP/LP モードの設定（右ページ）
  （大切な撮影には SP モードをお使いいただくことをおすすめします）

■ フルオートモードについて

● フルオート / マニュアル切換えスイッチを「フルオート」にすると、自動で色合い（白バランス）やピント（フォーカス）が合います。
（画面に「 AUTO 」表示が出ます）
- オートホワイトバランス　：P79
- オートフォーカス　：P79

● 光源や撮る場面によっては、色合いやピントが自動では合いません。この場合は、手動（マニュアル）で調整してください。

- シーンモード (P44)
- 白バランスの設定 (P45)
- シャッター速度の設定 (P47)
- 絞り・ゲイン値の設定 (P47)
- フォーカスの設定 (P46)

■ 記録モードについて（SP/LP モード）

テープへの記録モードを切り換えられます。
「LP」にすると、「SP」の 1.5 倍長くテープに記録できますが、制限される機能があります。

「 よく使う設定」→「SP/LP 記録モード」→「SP」または「LP」

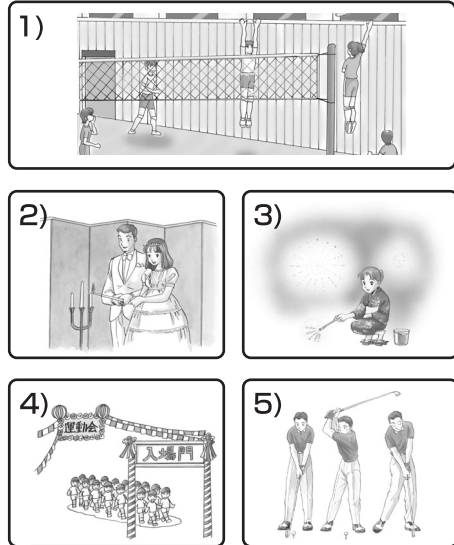
● 大切な撮影には SP モードをお使いになることをおすすめします。

● LP モード記録で本機の性能を十分に生かすには、パッケージに「LP モード」表示のある当社製のデジタルビデオカセットをおすすめします。

● LP モードで記録した映像にアフレコ(P58)はできません。(アフレコする場合は SP モードで記録してください)

● LPモードで撮っても画質は劣化しませんが、以下の場合にモザイク状のノイズなどが出たり、機能が制限されることがあります。
- 他のデジタルビデオ機器、または LP モードがないデジタルビデオ機器で再生
- 他のデジタルビデオ機器でLP録画したテープを本機で再生
- スロー / コマ送り再生時（P49）

■ 撮影場面に合わせた設定例

以下の設定はあくまでめやすです。光源や照明、天候、被写体の色や動きによってはうまく撮れないことがあります。
大切な撮影の前には、どの設定でどのように撮れるか、ためしておきましょう。

1)
2)
3)
4)
5)
1) 体育館
白バランス　：（セットモード）

2) 披露宴、舞台、発表会
白バランス　：場面ごとに設定

● スポットライトが当たっている場所では、シーンモードを「（スポットライト）」にすることをおすすめします。

3) 夜景、花火
白バランス　：（屋外モード）
フォーカス　：マニュアル

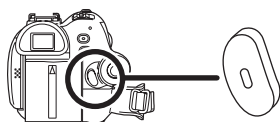
4) 運動会
白バランス　：オート
フォーカス　：マニュアル

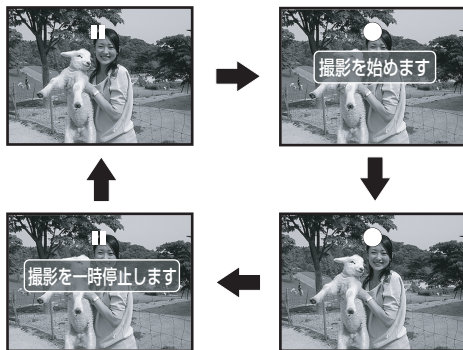
● 近距離でお子様の動きが速い場合は、オートフォーカスではピントが合わなくなる場合があります。

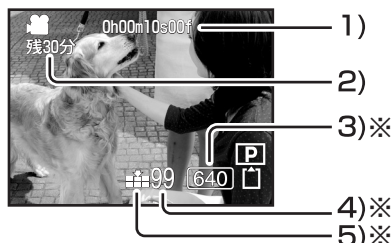
5) 動きの速いシーン（ゴルフのフォームなど）
シーンモード：（スポーツ）
白バランス　：オート
フォーカス　：マニュアル

① テープ撮影

● 🎥 テープ撮影モードにしておく

撮影開始 / 一時停止ボタンを押して撮影する

【撮影を終わるには】

撮影開始 / 一時停止ボタンをもう 1 度押す

- **バッテリーを使ってテープに撮影できる時間について（P15）**
- 撮影チェックをして、正しく撮影されているか確認してください。（右ページ）
- テープの未記録部分を探すには、ブランクサーチをしてください。（右ページ）

■ テープ撮影モード時の画面表示について

※カードを入れているときのみ表示されます。

1) **撮影の経過時間**
2) **テープ残量表示**
3) **静止画の記録画素数**
4) **静止画の記録可能枚数**
（残り 0 で赤色点滅となります）
5) **静止画の画質**

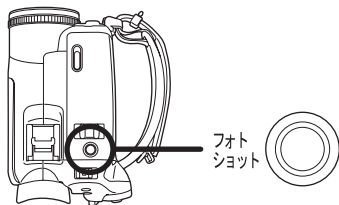
■ 画面上のテープ残量表示について

- テープ残量を分単位で表示します。
（残り 2 分で点滅表示）
- 15 秒以下の撮影では残量表示が出なかったり、正確に表示されないことがあります。
- 実際のテープ残量より2～3分少ない表示が出ることがあります。

② 同時記録

テープに撮影中に、カードに静止画を記録する

テープへの撮影中に、カードに静止画を記録できます。

テープに撮影中、フォトショットボタンを全押し（下まで押す）して記録する

- **カードへの記録枚数について（P61）**
- カードに静止画を記録中（ が赤く点灯中）は、撮影開始 / 一時停止ボタンが働きません。
- 記録する静止画の画質を選べます。（P33）
- 静止画の記録画素数は「 640 」になります。
- より高画質な静止画を撮るには、カード記録モードにすることをおすすめします。
- ワイドモードに設定すると、カードに静止画を記録できません。
- フォトショットボタンの半押しは働きません。

③ 撮影チェック

撮った内容を確認する

最後に撮った部分を 2 ～ 3 秒間再生します。チェック終了後は、撮影の一時停止状態に戻ります。

- テープ撮影モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを下にたおして、撮影チェックアイコン「 」を選ぶ

④ ブランクサーチ

撮った最後の部分を探す

撮影した場面の最後の部分（テープの未使用部分）を探します。

- **テープ撮影モードまたは テープ再生モードにしておく**

メニュー操作する（P22）

「 よく使う設定」または「 応用設定」→「 ブランクサーチ」→「する」

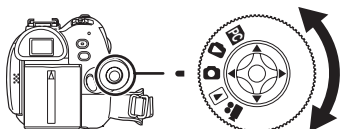
【途中でやめるには】

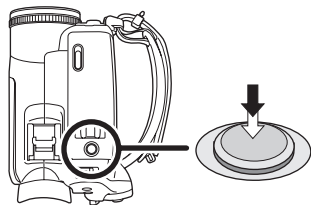
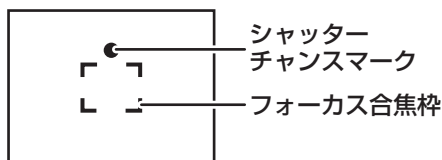
ジョイスティックを下にたおす

- テープに未記録部分がない場合は、テープ終端で止まります。
- 撮影した最後の場面の約 1 秒手前で止まります。そこから撮影を始めると、最後の部分からつなぎ撮りが始められます。

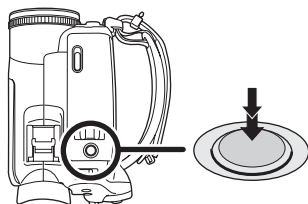
① カード記録

カードに静止画（JPEG（ジェイペグ））を記録する

- カード記録モードにしておく

1 フォトショットボタンを半押し（浅く押す）してピントを合わせる

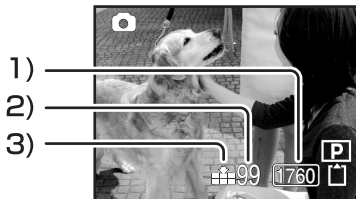
（オートフォーカス時のみ）

- 絞り・ゲイン値が固定され、自動でピントを合わせます。

○（白点滅）: ピント合わせ中
●（緑点灯）: ピントが合ったとき（ピピッ）
マークなし: ピントが合わなかったとき（ピッピッピッピッ）

- フォトショットボタンを半押ししていないときのシャッターチャンスマークは、以下のように表示されます。撮影のめやすにしてください。
  ●（緑点灯）: ピントが合ったとき（フォーカスが安定して、よりきれいに撮れる状態）
  ○（白点灯）: ほぼピントが合ったとき（通常の写真印刷（6 つ切り）では問題ない状態）

2 フォトショットボタンを全押し（下まで押す）して記録する

【静止画をきれいに撮影するには】

- 4 ～ 10 倍またはそれ以上の高倍率ズーム時は、手持ちによる撮影で微妙なぶれを抑えるのは難しくなりますので、ズーム倍率を低くして被写体に近付いて撮ることをおすすめします。
- 静止画を記録する際は、ぶれのないように両手でしっかり持ち、わきをしめて構えてください。
- 三脚・リモコンを使うと、手ぶれのない安定した映像を記録することができます。

- **カードへの記録枚数について（P61）**
- 音声は記録できません。
- カードにデータを記録している間は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カード動作中ランプ点灯中は、カードを抜き差ししないでください。
- 本機で記録 / 作成したデータの他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。
- 「写真画質」を「 」に設定して撮影すると、シーンによってはモザイク状になることがあります。
- 「記録画素数」を「640」以外に設定すると、メガピクセル記録になります。

カード記録モード時の画面表示

1) 静止画の記録画素数
2) 静止画の記録可能枚数
（残り 0 で赤色点滅となります）
3) 静止画の画質

プログレッシブ機能について

静止画をより高画質なフレーム静止画で撮ることができます。（プログレッシブ機能は手動で切 / 入できません）

- テープ撮影モードでは、お使いの機能によっては使えない場合があります。（P70）

静止画の記録画素数・画質

記録画素数

カードに記録する静止画のサイズを切り換えます。

「 よく使う設定」→「 記録画素数」→希望のサイズ

1760：1760 × 1320 画素
1280：1280 × 960 画素
640： 640 × 480 画素

写真画質

カードに記録する静止画の画質を切り換えます。

「 よく使う設定」→「 写真画質」→希望の画質

：高画質な静止画を記録します。
：記録枚数を優先し、標準画質で記録します。

- テープ撮影モードの「お好み設定」メニューの「写真画質」でも画質を変更できます。

シャッター効果を入れて撮る

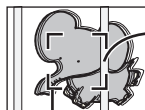
フォトショット時にシャッター音が出ます。

「 お好み設定」→「 シャッター効果」→「入」

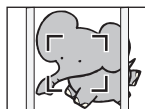
シャッターチャンスマークについて

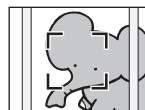
- マニュアルフォーカス時は、シャッターチャンスマークは出ません。
- 自動でピントが合いにくいときは、マニュアルで合わせてください。
- シャッターチャンスマークが出なくてもカード記録は可能です。ただし、ピントが合わずに記録される場合があります。
- 以下のような場合は、シャッターチャンスマークが表示されない、または表示されにくくなります。
  - ズーム倍率が大きい
  - 手ぶれが大きい
  - 被写体が動いている
  - 逆光のとき
  - 遠近が共存している場面
  - 低照度で暗い場面
  - 明るい部分が入っている場面
  - 横線しかない場面
  - コントラストが少ない場面

フォーカス合焦枠について

- フォーカス合焦枠内で被写体の前後にコントラストの高いものがあると、被写体にピントが合わない（合焦しない）場合があります。そのときは、コントラストの高いものをフォーカス合焦枠から外してください。

コントラストの高いもの（柵など）にピントが合うので被写体がぼける。

フォーカス合焦枠

フォーカス合焦枠から外すとピントが合います。

少し画面をずらす。

または

少しズームインするまたは被写体に近付く。

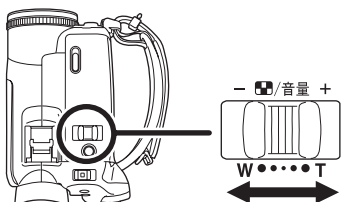
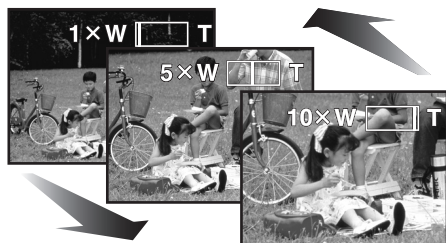
撮影する

① ズーム

ズームレバーを動かして倍率を調整する

遠くの人や物を大きく撮ったり、景色などを広角に撮ることができます。光学で最大 10 倍まで拡大できます。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

ズームレバーを動かす

T 側：大きく撮る（ズームイン）
W 側：広く（広角に）撮る（ズームアウト）

- 本機を手に持って拡大して撮影するときは、手ぶれ補正機能を使うことをおすすめします。（P43）
- 被写体を大きくしているときは、約 1.2 m 以上でピントが合います。
- ズーム速度が速いと、ピントが合わないことがあります。
- ズーム倍率1倍では、レンズから約4 cmまで近付いて撮ることができます。（マクロ機能）

■ さらに大きく撮る（デジタルズーム）

ズーム倍率が 10 倍より大きくなると、デジタルズームになります。デジタルズームの倍率の最大値を切り換えられます。

> テープ撮影モードにする
> 「 お好み設定」→「 デジタルズーム」→希望の倍率

切　　：光学ズームのみ（最大 10 倍まで）
25×　：最大 25 倍まで
100×：最大 100 倍まで

- 拡大するほど画質は悪くなります。
- カード記録モードでは使えません。

■ ズームマイク機能について

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周りの音をよりクリアに収録します。

> テープ撮影モードにする
> 「 お好み設定」→「 ズームマイク」→「入」

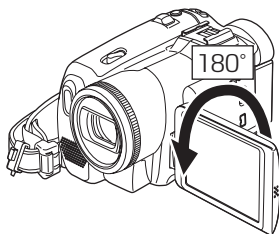
■ 可変速ズーム機能について

- ズームレバーを最後まで押し込むと、最速約 2.1 秒で 1 ～ 10 倍までズームできます。
- ズームレバーを動かす幅によって、ズーム速度が変わります。
- フリースタイルリモコンでは、ズーム速度は 2 段階に変化します。
- ワイヤレスリモコンでは、可変速ズームはできません。

② 対面撮影

撮影する相手に内容を見せながら撮影する

撮影する相手に内容を見せながら撮影したり、液晶モニターを見ながら自分自身を撮ることができます。液晶モニターに映る映像は、鏡を見ているような左右反転した映像になりますが、記録される内容は通常どおりです。

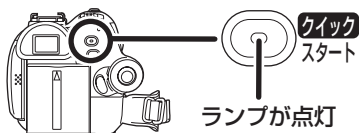
液晶モニターを手前（レンズ側）に回転させる

- 対面撮影時は、液晶モニターとファインダーが同時に点灯します。
- 対面撮影時は、ジョイスティックを押しても操作アイコンが表示されません。

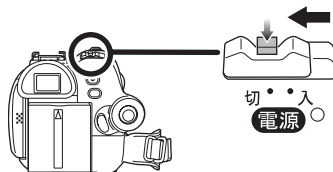
③ 1.7 秒クイックスタート

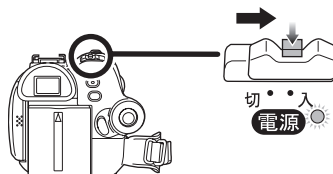
素早く撮影を始める

電源を入れてから約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。

- **以下の場合に設定できます。**
  - テープ撮影モードで、カセットまたはカードが入っている
  - カード記録モードで、カードが入っている

1 クイックスタートボタンを押す

- クイックスタートランプが点灯します。（もう一度押すと消灯し、解除されます）

2 電源スイッチを「切」にする

- クイックスタートの待機状態になります。

3 電源スイッチを「入」にする

- 約 1.7 秒で撮影の一時停止状態になります。

【電源「切」状態でクイックスタートを解除するには】

クイックスタートボタンを 2 秒以上押す
（ランプが消灯して解除されます）

- 電源「切」状態が約 30 分以上続くと、ランプが消灯して完全に電源が切れます。

- モードダイヤルを切り換えたりバッテリーを取り外すと、クイックスタートランプが消灯し、クイックスタートモードは解除されますが、再度電源を入れてテープ撮影 / カード記録モードにすると、ランプが点灯し再設定されます。
- 白バランスがオートモードの状態でクイックスタートすると、最後に撮影した場面と光源が違う場合、白バランスが自動で調整されるまでに時間がかかることがあります。（ただし、カラーナイトビュー使用時は、最後に撮影したときの白バランスが保持されます）
- 待機状態から電源を入れると、ズーム倍率は約 1 倍の位置になり、待機する前と比べて画像の大きさが変わることがあります。
- クイックスタートの待機状態では、通常撮影時の約半分の電力を消費していますので、クイックスタートを使うと撮影できる時間が短くなります。

④ 逆光補正

逆光で人物などが暗くなるのを防ぐ

被写体に後ろ側から光が当たり、暗く映るときにお使いください。

● テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを右にたおして、逆光補正アイコン「」を選ぶ

● 画面の映像が明るくなります。

【逆光補正を解除するには】

もう一度、逆光補正アイコンを選ぶ

● 電源スイッチまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。

⑤ カラーナイトビュー

暗い場所で撮る

暗い場所でも、カラーで明るく浮かび上がらせて撮影できます。
三脚に取り付けて使うと、ぶれの少ない映像が撮れます。

● フォーカスはマニュアルになります。
● 撮影した映像はコマ落としのようになります。

カラーナイトビュー
暗い場所をカラーで明るく撮る

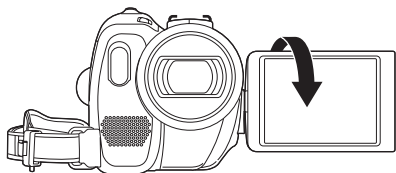
0Lux（ゼロルクス） カラーナイトビュー
真っ暗な場所をライトパネルの明かりで撮る
（ルクスとは照らされる場所の明るさを表す単位です）

● テープ撮影モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを上にたおして、カラーナイトビューアイコン「」を選ぶ

● 選ぶごとにモードが切り換わります。
「切」→「カラーナイトビュー」→
「0Lux カラーナイトビュー」→「切」

3 （0Lux（ゼロルクス） カラーナイトビューの場合）液晶モニターを反転させる

- 液晶モニターを反転させると、POWER LCD ランプが点灯し、ライトパネルが白く光ります。
- ファインダーで映像を見ながら撮影してください。
- 真っ暗な場所でも約1.2 mまで撮影できます。

【カラーナイトビューを解除するには】

カラーナイトビュー表示が消えるまで、カラーナイトビューアイコンを選ぶ

- 明るい場所で設定すると、しばらくの間画面が白くなることがあります。
- カラーナイトビューは、CCDの信号蓄積時間を最大で通常の約 30 倍にすることにより、通常では見えない暗い場面もカラーで明るく映し出すことができる機能です。このため、通常では見えない微小な輝点が見えることがありますが、異常ではありません。
- 電源スイッチまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。

⑥ 美肌モード

肌の色をソフトに見せ、よりきれいに映す

人物の胸から上を大きく撮ると、より効果的です。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを下にたおして、美肌アイコン「」を選ぶ

【美肌モードを解除するには】

もう一度、美肌アイコンを選ぶ

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時になめらかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

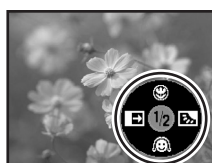
撮影する

⑦ テレマクロ機能

撮りたいものにだけピントを合わせて、クローズアップする

被写体のみにピントを合わせ、背景をぼやかすことで、より印象的な映像にします。
約 40 cm まで近付いて撮影できます。

- テープ撮影モードまたはカード記録モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを上にたおして、テレマクロアイコン「」を選ぶ

- ズーム倍率が 10 倍以下のときは、自動的に 10 倍になります。

【テレマクロ機能を解除するには】

もう一度、テレマクロアイコンを選ぶ

- ピントが合いにくいときは、マニュアルで調整してください。(P46)
- ズーム倍率を 10 倍未満にすると、自動的に解除されます。
- 電源スイッチまたはモードダイヤルを操作すると解除されます。

⑧ フェード

映像と音声を徐々に現す / 消す

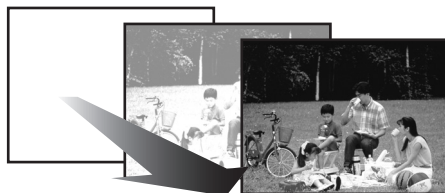
- テープ撮影モードにしておく

1 ジョイスティックの中央を数回押して、図のアイコンを出す

2 ジョイスティックを左にたおして、フェードアイコン「」を選ぶ

3 撮影開始 / 一時停止ボタンを押す

撮影を開始する（フェードイン）

記録をはじめると、映像 / 音声が完全に消えたあと、映像 / 音声が少しずつ現れます。

撮影を一時停止する（フェードアウト）

映像/音声が少しずつ消えていき､完全に映像/音声が消えたあと、記録が停止します。

【フェードを解除するには】

もう一度、フェードアイコンを選ぶ

■ フェードする画面の色を選ぶには

「セットアップ」→「フェード色」→「白」または「黒」

● 画面の表示が変わります。

白

黒

● フェード機能を選択中は、撮影を開始すると映像が現れるまで数秒かかります。また撮影の一時停止にも数秒かかります。

⑨ 風音低減

内蔵マイクに当たる風の音を低減する

● テープ撮影モードにしておく

メニュー操作する（P22）

「よく使う設定」→「風音低減」→「入」

【解除するには】

「風音低減」→「切」

● 初期設定は「入」です。

● 風の強さに応じて、マイクの風音ノイズを低減します。（強風下でご使用の場合は、ステレオ感がなくなることがありますが、風が弱くなると自動的に元のステレオ感のある音質に戻ります）

⑩ フラッシュ

暗い場所での静止画記録時にお使いください。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「お好み設定」→「フラッシュ」→「」または「A」

- 「A」に設定すると、自動で周りの明るさを感知し、フラッシュが必要だと判断したときに発光します。

2 フォトショットボタンを押す

- フラッシュが発光し、静止画が記録されます。

- カードを入れていないと、フラッシュは使えません。
- フラッシュを「」に設定していても、周囲の明るさを感知し、フラッシュの発光が必要かどうかを自動判別します。（フラッシュを必要と判断したときは、「」が黄色で点灯します）
- 「」（「 +」、「 −」）、「A」（「A +」、「A −」）が点灯すると発光します。点滅中または無表示の場合は、フラッシュは発光しません。
- フラッシュの使用可能範囲（めやす）は、暗い部屋で約 1 m～2 m です。2 m 以上では暗く映ったり、画面が赤っぽくなる場合があります。
- 「フラッシュ」を「A」に設定しているとき、シャッター速度や絞り / ゲインを調整すると、「」などの表示が消え、フラッシュが発光しない場合があります。
- フラッシュを発光させると、1/750 以上のシャッター速度は、1/500 に固定されます。
- 暗いところではピントが合わない場合がありますので、マニュアルで調整してください。（P46）
- 白っぽい背景の前でフラッシュを発光させると、被写体が暗く映る場合があります。
- コンバージョンレンズ（別売）を付けていると、フラッシュの光をさえぎるため影が現れ、暗くなる場合があります。（ケラレ）
- ND フィルター（別売）を取り付けた状態で使用しないでください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では、「」に設定しておいてください。
- フラッシュ発光部を手などでふさがないでください。

【フラッシュを使わないときは】

「お好み設定」→「フラッシュ」→「」

■ フラッシュの明るさを調整するには

「お好み設定」→「± フラッシュ明るさ」→希望の明るさ

±0：通常の撮影時
（「」または「A」表示が出ます）

+: 明るさが不十分なとき
（「+」または「A+」表示が出ます）

−: 明るさが強すぎるとき
（「 −」または「A −」表示が出ます）

■ フラッシュ発光時に人物の目が赤くなるのを軽減する（赤目軽減）

「お好み設定」→「赤目軽減」→「入」

- 「」表示が出ます。
- 撮影状況によっては、目が赤く映る場合があります。

■ ビデオフラッシュ /VW-FLHDJ3（別売）を使うと

- 2 m 以上でも、暗い場所でのフォトショットができます。使用可能範囲（めやす）は約1 m～4 m です。
- フラッシュが発光する状態になると、「ϟ」が本機の画面に点灯します。
- 内蔵フラッシュと同時に使用できません。
- フラッシュの明るさは調整できません。
- シャッター速度、絞り・ゲイン、白バランスは固定になります。
- 屋外や逆光などの明るいところでフラッシュを使用すると、映像が白とび（色とび）する場合があります。この場合、フラッシュを使用せずにマニュアルで絞りを調整するか、逆光補正機能をお使いください。
- ビデオフラッシュの説明書もよくお読みください。

⑪ セルフタイマー – 自分も入って撮る

タイマーを使ってカードに静止画を記録できます。

- カード記録モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「よく使う設定」→
「セルフタイマー」→「する」

2 フォトショットボタンを押す

- 「」表示と撮影お知らせランプが 10 秒間点滅したあと記録されます。記録後、セルフタイマーは解除されます。
- フォトショットボタンの半押しは働きません。フォーカス合焦枠内にピントが合います。（P33）

【タイマーを途中で止めるには】

メニューボタンを押す

- 電源スイッチまたはモードダイヤルを操作すると、セルフタイマーは解除されます。
- 連写カードショット設定時は、最大 10 枚まで連続記録します。

撮影する

⑫ ワイド / シネマモード

ワイドテレビに対応した映像を撮る

S1（ワイド）、S2（シネマ）映像端子の付いたワイドテレビに対応した映像を撮ることができます。（接続するテレビによって、テープの再生映像は異なります）

ワイド (ワイドモード)

16：9 の比率で映像を記録します。

シネマ（シネマモード）

画面の上下に黒い帯を表示させ、映画のような映像にします。

● テープ撮影モードにしておく

メニュー操作する（P22）

「お好み設定」→
「ワイド」または「シネマ」→「入」

【解除するには】

「ワイド」または「シネマ」→「切」

■ 接続するテレビと再生される映像について

● S 映像コード（別売）を使う場合、接続する端子の種類によって、再生映像が図のようになります。

● 接続するテレビの設定によって変わりますので、詳しくはテレビの説明書をお読みください。

● シネマモードは撮れる範囲が広がるわけではありません。

● テレビに映像を映すと、日付表示が欠けることがあります。

● テレビによっては、画質が悪くなる場合があります。

● パソコンにシネマ映像を取り込むとき、ソフトウェアによっては、取り込み映像が正しく表示されない場合があります。

● 4:3 のテレビをお使いの場合は、ワイドモードを使わないことをおすすめします。
（画像が縦伸びの映像になります）

● 手ぶれ補正使用時にワイドモードを設定すると、手ぶれ補正が解除されます。

⑬ 手ぶれ補正

ぶれを少なくして撮る

撮影時に起こる手ぶれによる映像の揺れを軽減します。

● テープ撮影モードにしておく

メニュー操作する（P22）

「お好み設定」→「手ぶれ補正」→「入」

【解除するには】

「手ぶれ補正」→「切」

- 三脚使用時は、手ぶれ補正を使わないことをおすすめします。
- ぶれが大きいときや、動きのある被写体を追いながら撮影した場合、補正できないことがあります。
- 蛍光灯下では、画面の色や明るさが変化することがあります。
- ワイドモードで手ぶれ補正を「入」にすると、ワイドモードは解除されます。
- カラーナイトビュー時には、手ぶれ補正は働きません。このときは、「((✋))」が点滅します。
- 以下の場合は、手ぶれ補正が効きにくくなることがあります。
  - デジタルズーム使用時
  - コンバージョンレンズ使用時
  - 極端に暗い場所での撮影時

⑭ 連写カードショット

静止画を連続記録する

静止画を一定間隔で連続して記録します。

● カード記録モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「よく使う設定」→「記録画素数」→「640」

「お好み設定」→「連写」→「入」

2 フォトショットボタンを押し続ける

【連続記録を途中でやめるには】

フォトショットボタンから指を離す

- 半押ししてから連続記録することもできます。（ピントは固定されます）
- 約 0.5 秒間隔で最大 10 枚連続して記録します。（マニュアルでシャッター速度を 1/30 に設定しているときは約 0.7 秒間隔になります）
- ボタンから指を離しても、1 コマ多く撮れることがあります。
- フラッシュは発光しません。
- セルフタイマー設定時は、最大 10 枚まで連続記録します。
- カードによっては連続記録の間隔が遅くなる場合がありますので、当社製 SD メモリーカードをお使いになることをおすすめします。
- 他機でフォーマットしたカードや、記録や削除を繰り返したカードでは、連写の間隔が遅くなることがあります。その場合は、大切なデータをパソコンなどに保存して、本機でフォーマットしてください。

① シーンモード ――

いろいろな場面で撮る

撮りたい場面に合わせて、自動でシャッター速度や絞りが調整されます。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする

2 メニュー操作する（P22）

「 よく使う設定」→
「SCN シーンモード」→希望の設定

表示	モード	撮影条件
	スポーツ	スポーツシーンなど、動きの速い場面で
	ポートレート	背景をぼかして、手前の人物を引き立たせる
	ローライト	夕暮れなど、暗い場面で明るく
	スポットライト	スポットライトが当たる人物をきれいに
	サーフ＆スノー	海辺やスキー場など、まぶしい場面で

【元に戻すには】

「SCN シーンモード」→「切」

（または切換えスイッチを「フルオート」にする）

スポーツモード

- 撮ったものをスロー再生や静止画再生したときに、ぶれの少ない映像になります。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかには見えません。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ることがあります。
- 明るさが足りない場合はスポーツモードが働きません。このときは、「 」が点滅します。
- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。

ポートレートモード

- 屋内で使うと画面がちらつくことがあります。このときはシーンモードを「切」にしてお使いください。

ローライトモード

- 極端に暗い場面ではきれいに撮れないことがあります。

スポットライトモード

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。また、周囲が極端に暗くなることがあります。

サーフ＆スノーモード

- 撮りたいものが極端に明るい場合、映像が白っぽくなることがあります。

② 白バランス設定 — 自然な色合いにする

光源などによって、色合いが自然でないときに、手動で設定してください。

- **テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく**

1 フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする

- 図のアイコンが自動的に表示されます

2 ジョイスティックを数回下にたおして、白バランスの表示（AWB など）を選ぶ

3 ジョイスティックの左右で白バランスのモードを選ぶ

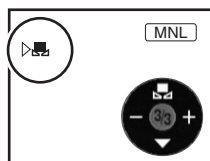
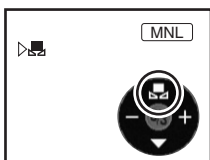
【元に戻すには】

白バランスのモードを「AWB」にする、または切換えスイッチを「フルオート」にする

表示	モード	撮影条件
AWB	オート	
	屋内（白熱電球）	白熱電球、ハロゲンランプ
	屋外	屋外の晴天下
	蛍光灯	蛍光灯（当社のパルック蛍光灯など）
	セット	● 水銀灯、ナトリウムランプ、一部の蛍光灯 ● ホテルの結婚式場のライトや劇場のスポットライト ● 日没・日の出など

- レンズカバーを閉めたまま電源を入れると、オートホワイトバランスが正しく合いません。必ず開けてから電源を入れてください。
- 白バランスと絞り・ゲインの両方を設定するときは、白バランスを設定したあとに、絞り・ゲインを設定してください。
- 撮影条件が変わった場合は、正確に合わせるために毎回設定し直してください。

■ 手動で白バランスの設定をする場合

1)「 」(セットモード) を選び、画面いっぱいに白い被写体を映す

2) ジョイスティックを上にたおして、図のアイコンの「 」を選ぶ

- 「 」表示が点滅から点灯に変わると、設定完了です。

② 白バランス設定

（つづき）

自然な色合いにする

■「」表示の点滅について

- **セットモードを選んだとき**
  - 以前にセットモードで設定した内容が保持されていることを示しています。
  （再度設定するまで、その内容を記憶しています）
- **セットモードで設定できないとき**
  - 暗いところなどでは、セットモードでの設定がうまくできないことがあります。このときは、オートモードで撮ってください。
- **セットモードで設定中のとき**
  - セットモードで設定中は、「」表示が点滅します。設定が完了したら、「」表示が点灯に変わります。

■ 白バランスセンサーについて

白バランスセンサー

- 撮影時に白バランスセンサーの前を手などでふさがないでください。白バランスが正常に働きません。

■ 黒バランスについて

- 3CCD システムの機能の 1 つで､白バランスをセットモードで設定したとき、自動的に黒の状態も合わせます。黒バランス調整時には、画面が一瞬黒くなります。（手動で黒バランスを調整することはできません）

黒バランス調整中（点滅）

白バランス調整中（点滅）

調整完了（点灯）

③ マニュアルフォーカス設定

手動でピントを合わせる

自動でピントが合いにくいときに調整してください。

- **テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく**

1 フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする

2 下へ動かし、「フォーカス」にする

- 図のアイコンとマニュアルフォーカス「MF」が表示されます。

3 ジョイスティックの左右でピントを調整する

- 広角でピントを合わせると、拡大したときにピントが合っていないことがあります。
  拡大して合わせると、広角にしてもピントが合います。

【元に戻すには】

切換えスイッチをもう一度「フォーカス」の位置まで下に動かす､または｢フルオート｣にする

④ シャッター速度 / 明るさ（絞り・ゲイン）調整

シャッター速度

動きの速いものを撮るときなどに調整してください。

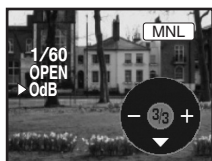
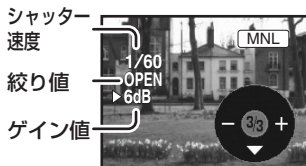
絞り・ゲイン

暗すぎる（明るすぎる）場面で撮るときなどに調整してください。

- テープ撮影モードまたは カード記録モードにしておく

1 フルオート / マニュアル切換えスイッチを「マニュアル」にする

- 図のアイコンが自動的に表示されます。

2 ジョイスティックを数回下にたおして、シャッター速度の表示（1/60など）、または絞り・ゲインの表示（F2.0、0dB など）を選ぶ

3 ジョイスティックの左右で調整する

【元に戻すには】

切換えスイッチを「フルオート」にする

< シャッター速度 >

- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの照明は避けてください。色合いや画面の明るさが変わることがあります。
- マニュアルでシャッター速度を速くすると、感度が低くなることにより、自動でゲイン値が上がり、画面にノイズが増えることがあります。
- 明るく光っているものや反射の強いものは、縦方向に光の帯が出ているように撮れることがありますが、故障ではありません。
- 通常の再生では、画面の変わりかたがなめらかに見えないことがあります。
- 極端に明るい場所や被写体を撮影すると、画面の色が変わったり、ちらついたりすることがあります。この場合、マニュアルでシャッター速度を 1/60 または 1/100 に調整してください。

< 絞り・ゲイン >

- 絞り値が「OPEN」にならないと、ゲイン値は調整できません。
- ゲイン値を上げると、画面にノイズが増えます。
- ズーム倍率によっては、表示されない絞り値（F 値）があります。

■ シャッター速度の調整範囲

テープ撮影モード：1/60 ～ 1/8000

カード記録モード：1/30 ～ 1/500

- 1/8000 に近いほど、シャッター速度が速くなります。

■ 絞り値・ゲイン値と明るさの関係

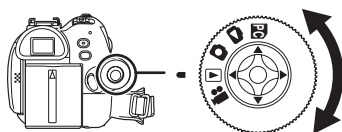
CLOSE F16～F2.0　　OPEN（開放）0dB～18dB

暗くする ◀━━━━▶ 明るくする

■ 動きの速いものを撮影し、あとで静止画再生して見る場合

- シャッター速度のめやす
  - ゴルフやテニスのスイング撮影
    1/500 ～ 1/2000
  - バレーボールの試合の撮影
    1/100 ～ 1/350
  - ジェットコースター撮影
    1/500 ～ 1/1000

① テープ再生

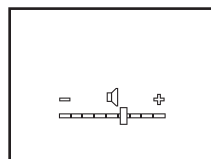
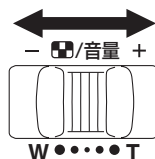
● ▶ テープ再生モードにしておく
（液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示されます）

ジョイスティックの上下左右で操作する

再生 / 一時停止	▶/❚❚
巻き戻し / 巻き戻し再生	◀◀（▶/❚❚ で通常再生に戻ります）
早送り / 早送り再生	▶▶（▶/❚❚ で通常再生に戻ります）
停止	■

● 動きのある場面では、早送り / 巻き戻し再生中に画面がモザイク状になります。
● 早送り / 巻き戻し再生の前後に、画面が一瞬青くなったり、映像が乱れることがあります。

■ 音量を調整する

再生時のスピーカー音量（ヘッドホン使用時はヘッドホン音量）を調整します。

ズームレバーを動かして音量を変える

＋側 ：音量を上げる
−側 ：音量を下げる
（「▮」表示が右に移動する（＋に近付く）ほど音量が大きくなります）

● 調整が終わると、音量表示は消えます。
● テープ再生時に聞きたい音声が聞こえないときは、「12bit 音声」（P58）の設定を確認してください。

■ リピート再生について

テープの終端まで再生すると、自動的に始端まで巻き戻し、もう一度再生します。

「応用設定」→「リピート再生」→「入」

● 「 ▷」表示が出ます。（解除するには、「リピート再生」を「切」にする、または電源を「切」にします）
● 「USB 機能」を「WEB カメラ」にして USB 接続ケーブルをつなぐと、リピート再生が解除されます。

■ 音声の設定について

● 聞きたい音声が出ないときは、「12bit 音声」（P58）の設定を確認してください。
● 「12bit」で撮影、アフレコした場合、「12bit 音声」を「ミックス」にすると、「音声切換」の設定に関係なく、再生する音声はステレオになります。

② スロー再生
スローモーションで再生する

コマ送り再生
1 コマずつ再生する

● ▶ テープ再生モードにしておく
（スロー再生は、ワイヤレスリモコンでのみ操作できます）

＜スロー再生＞

SP モード記録時は約 1/5、LP モード記録時は約 1/3 の速度で再生します。

リモコンのスロー/ コマ送りボタンを押す

● 約 10 分以上スロー再生を続けると、テープが自動的に停止します。（10 分間でテープ上の再生時間は、SP モードで約 2 分、LP モードで約 3 分進みます）

＜コマ送り再生＞

再生を一時停止し、リモコンのスロー / コマ送りボタンを押す

● 再生の一時停止中に本体のズームレバーをT側（正方向）またはW側（逆方向）にポンと押しても、コマ送り再生できます。
また、レバーを押し続けると連続コマ送り再生できます。

【通常の再生に戻すには】

ワイヤレスリモコンの再生ボタンを押す

＜スロー再生＞

● 逆スロー再生時にタイムコード表示が一定にならない場合があります。

＜コマ送り再生＞

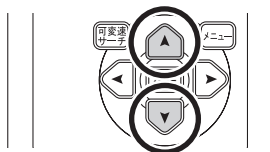
● 再生の一時停止中にスロー/コマ送りボタンを押し続けると、連続コマ送り再生になります。

③ 可変速サーチ
再生の速度を変える

速度を変えて再生 / 逆再生します。
（ワイヤレスリモコンでのみ操作できます）

● ▶ テープ再生モードにして、テープを再生しておく

1 リモコンの可変速サーチボタンを押す

2 方向ボタンの上下を押して、再生の速度を調整する

● 速度は再生 / 逆再生ともに、1/5（SP）、1/3（LP）、2、5、10、20 倍速があります。

【通常の再生に戻すには】

ワイヤレスリモコンの可変速サーチボタン、または再生ボタンを押す

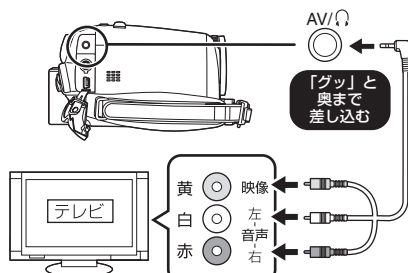
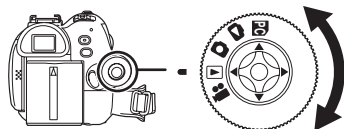
● 画面がモザイク状になる場合があります。
● 音声は出ません。
● 操作アイコンを表示すると解除されます。

再生する

④ テレビで再生

本機で撮った映像をテレビ画面で再生できます。

● **本機に撮影済みのカセットを入れておく**

1 本機とテレビをつなぐ

2 本機の電源を入れ、▶ テープ再生モードにする

3 テレビの入力チャンネルを選ぶ

4 本機の再生を始める

- テレビに映像・音声が出ます。

5 本機の再生を終わる

● AC アダプターを使うと、バッテリーの消耗を気にせず使えます。

■ テレビに本機の映像や音声が出ないときは

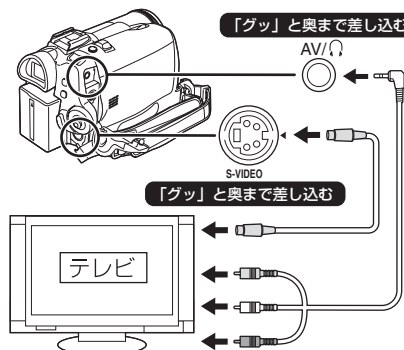
● コードがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。

● 接続している端子を確認してください。

●「基本設定」メニューの「AV 端子」を「出力 / 🎧」に設定していてもテレビに映像が出ない場合は、「出力」に設定してください。(P65)

● **テレビの入力設定（入力切換）を確認してください。**
（詳しくはテレビの説明書をお読みください）
<テレビの設定>
例：チャンネルを「ビデオ 2」などにする
（接続する端子によって変わります）

■ よりきれいな映像で見るには

テレビにＳ映像入力端子があるときは、Ｓ映像コード（別売）も同時に接続してください。

● Ｓ 映像コード接続時は、必ず映像･音声コードも一緒に接続してください。

■ テレビ画面に機能表示などを表示する

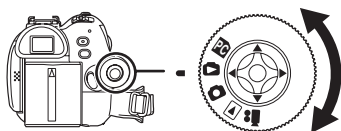
液晶モニターやファインダーに表示されている情報（操作アイコン、タイムコード、モード表示など）や年月日 / 時刻表示（P64）をテレビ画面に表示することができます。

リモコンの表示出力ボタンを押す

再度、表示出力ボタンを押すと、表示が消えます。

① カード再生

カードの静止画（JPEG）を再生する

- カード再生モードにしておく（液晶モニターに操作アイコンが自動的に表示される）

ジョイスティックの上左右で操作する

前の画像を表示	◀‖
次の画像を表示	‖▶
スライドショー（カードの静止画を順番に再生）の開始 / 停止	▶/■

- カードのデータを再生中は、モードダイヤルを操作しないでください。
- カード動作中ランプ点灯中は、カードを抜き差ししないでください。
- 記録画素数によっては、ファイルの表示に時間がかかる場合があります。
- 形式の異なるデータや壊れたデータを再生したときは、画面全体が青くなり、「再生できません」というメッセージが出ることがあります。
- 本機以外で記録したファイルを再生すると、日時表示が撮影日時と異なることがあります。
- 他の機器で記録された画像を再生すると、記録したときの記録画素数と本機で表示される記録画素数が異なる場合があります。（P67）

■ 再生ファイルの選択について

カード再生モードでは、カード内のファイルをマルチ画面で表示できます。

ズームレバーを動かして画面を切り換える

T 側 ：全画面表示（1 つの画像を表示）
W 側 ：マルチ画面表示（1 画面に 6 ファイル）

- マルチ画面表示では、
  - ジョイスティックの上下左右でファイルを選び（黄色の枠で囲まれます）、中央を押して決定してください。選んだファイルが全画面で表示されます。
  - 7 ファイル以上記録されている場合は、ジョイスティックを動かしていくと、次の（前の）マルチ画面が表示されます。

■ 静止画の互換性について

- 本機は電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）に準拠しています。
- 本機で再生できるファイル形式は JPEG です。（JPEG 形式でも再生できないものもあります）
- 規格外のファイルを再生すると、フォルダー / ファイル名が表示されない場合があります。
- 他機で記録 / 作成したデータの本機での再生、本機で記録 / 作成したデータの他機での再生は、画像が悪くなったり、再生できない場合があります。

① ファイル削除

カードに記録した静止画を削除する

一度削除した静止画は元に戻りません。

● カード再生モードにしておく

1 ジョイスティックの左右で削除するファイルを選ぶ

● マルチ画面表示（P51）でも選ぶことができます。ファイルを選択してから、ジョイスティックを押して操作アイコンを表示してください。

2 ジョイスティックの下で、「🗑」を選ぶ

3 ジョイスティックの上下で、「1枚削除」または「全削除」を選び、中央を押す

4 確認のメッセージが出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

● 削除をやめるときは、「いいえ」を選びます。

● 「全削除」の場合、カード内にファイルが多数あると、削除に時間がかかることがあります。

● 記録時に「カード残量がありません」と表示されたときは、カード再生モードにして、不要なファイルを削除してください。

● それでも削除するファイルがないときは、容量がいっぱいですので、新しいカードを入れてください。

● DCF規格に準拠したファイルを削除すると、そのファイルに関連するデータはすべて削除されます。

■ 他の機器でカードに記録された静止画のファイルを削除する場合

● 本機で再生できない静止画のファイル(JPEG以外のファイル)でも削除される場合があります。

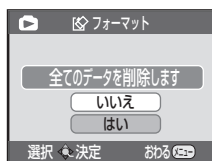
② フォーマット
カードを初期化する

フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは削除されますので、お気を付けください。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。

● カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「応用設定」→「フォーマット」→「する」

2 「全てのデータを削除します」が出たら、「はい」を選んでジョイスティックの中央を押す

- 通常、フォーマットする必要はありません。何度カードを抜き差ししても、「ビデオカメラでフォーマットしてください」とメッセージが出る場合にフォーマットしてください。
- フォーマットは本機で行ってください。他機（パソコンなど）でフォーマットすると、記録に時間がかかったり、使用できなくなる場合があります。

③ プロテクト設定
ファイルを誤消去防止する

カードに記録した静止画を誤って削除しないように、プロテクト設定できます。
（ファイルをプロテクトしていても、カードをフォーマットした場合は削除されます）

● カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「基本設定」→「プロテクト」→「する」

2 ジョイスティックの上下左右で設定するファイルを選び、中央を押して設定する

- 「」表示が出てファイルがプロテクトされます。もう一度押すと、プロテクトは解除されます。
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

再生する

④ DPOF設定

ディーポフ

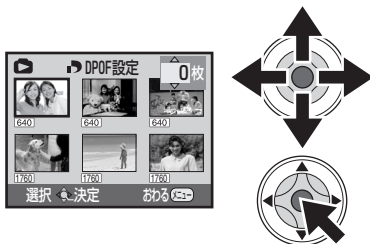
プリント情報をカードに書き込む

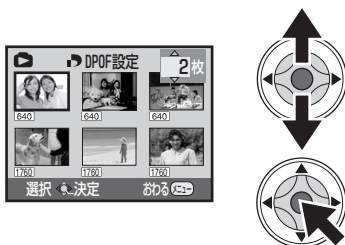
プリントしたい画像、プリント枚数などの情報（DPOF データ）をカードに書き込むことができます。

- カード再生モードにしておく

1 メニュー操作する（P22）

「応用設定」→「DPOF 設定」→「設定」

2 ジョイスティックの上下左右で設定するファイルを選び、中央を押す

- 枚数表示が出ます。

3 ジョイスティックの上下でプリントする枚数を選び、中央を押す

- 0 から 999 枚まで選べます。（PictBridge（P59）でプリントする枚数ではありません）
- 複数のファイルを続けて設定できます。

【設定を終了するには】

メニューボタンを押す

- 他機でDPOF設定すると、本機では認識しないことがあります。DPOF 設定は本機で行ってください。

■ すべての画像をプリントしないように設定するには

「DPOF 設定」→「全て解除」

■ DPOF とは

Digital Print Order Format の略です。（デジタル プリント オーダー フォーマット）
DPOF 対応のシステムで活用できるように、カードのメモリー画像にプリント情報などを付加できるようにしたものです。

① テープの映像をカードに記録

テープに撮影した映像の気に入ったシーンをカードに記録できます。

- **▶ テープ再生モードにしておく**
- **本機に撮影済みのカセット、記録用のカードを入れておく**

1 再生を始める

2 記録したいシーンで再生を一時停止し、フォトショットボタンを押す

●音声は記録されません。

- カードに記録される静止画の画素数は、「640」になります。（メガピクセル静止画記録ではありません）
- テープを一時停止しないでフォトショットすると、ぶれのある画像を記録することがあります。
- S1 信号（16：9）の映像は、「ワイド画像は記録できません」と表示され、静止画は記録できません。
- DV 入力あるいはテープに記録されたワイド映像をカードに記録することはできません。

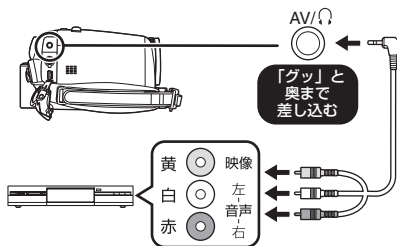
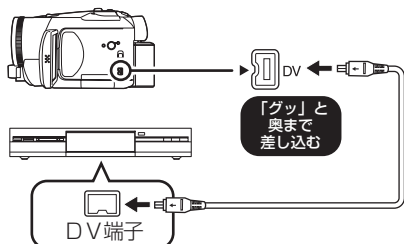
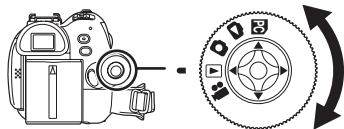
② ダビング

DVD レコーダーやビデオなどにコピーする

本機で撮った映像を DVD-RAM やカセットなどに保存できます。

● 本機に撮影済みのカセット、録画機に録画用の DVD-RAM やカセットなどを入れておく

1 本機と録画機をつなぐ

映像･音声コードで接続する場合

DV ケーブル（別売）で接続する場合
（DV 端子が付いている機器のみ）

2 本機の電源を入れ、▶ テープ再生モードにする

3 テレビ･録画機の入力チャンネルを選ぶ
（詳しくはテレビ･録画機の説明書をお読みください）

例）テレビ : チャンネルを「ビデオ 1」（通常、DVD やビデオを見るチャンネル）などにする

録画機 : チャンネルを「L1」などにする（接続する端子によって変わります）

4 再生する（本機）

5 録画を始める（録画機）

6 再生を終わる（本機）

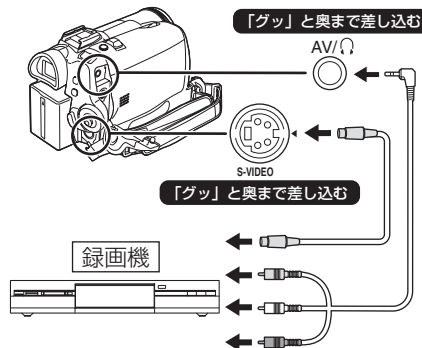
7 録画を終わる（録画機）

● 録画機の説明書もよくお読みください。
● 機能表示や年月日 / 時刻表示（P64）が不要な場合は、表示を消しておいてください。（DV ケーブルで接続する場合は、表示が出ないことがあります）

■ テレビに本機の映像や音声が出ないときは

● コードがグッと奥まで差し込んであるか確認してください。
● 接続している端子を確認してください。
● 「基本設定」メニューの「AV 端子」を「出力 / 🎧」に設定していてもテレビに映像が出ない場合は、「出力」に設定してください。（P65）

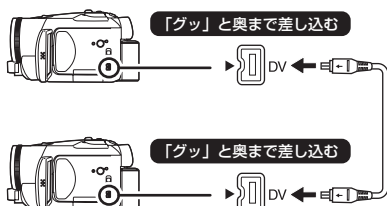
■ 映像･音声コード接続時に、よりきれいに映像をコピーするには

● 録画機に S 映像入力端子があるときは、映像･音声コード（付属）と一緒に S 映像コード（別売）も接続してください。

③ デジタルダビング

デジタルビデオ機器とつないで使う

DV 端子（IEEE1394 端子）を持ったデジタルビデオ機器と DV ケーブル /VW-CD1（別売）でつなぐと、デジタル信号による高画質なダビングができます。

● ▶ **テープ再生モードにしておく**
（再生機・録画機どちらも）

1 接続する

2 メニュー操作する（P22）（録画機）

「応用設定」→「●II 録画待機」→「する」

3 再生する（再生機）

4 ジョイスティックを上にたおして、録画する（録画機）

● 手順 2 のメニュー操作をせずに、リモコンの録画ボタンを押しながら、再生ボタンを押して録画を始めることもできます。

5 ジョイスティックをもう一度上にたおして、録画を終わる（録画機）

6 再生を終わる（再生機）

【録画の待機状態を解除するには】

録画の待機中に、ジョイスティックの下で「■」を選ぶ

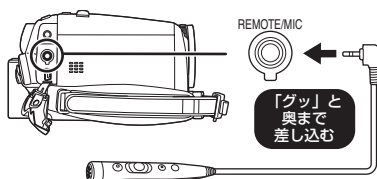
● ダビング中にDVケーブルを抜き差ししないでください。正常に動作しないことがあります。
● 主音声、副音声の入った映像（2 カ国語の映像など）をダビングしたときは、再生時に「セットアップ」メニューの「音声切換」で聞きたい音声を選んでください。（P65）
● DV 端子または IEEE1394 端子を持った機器でも、デジタルダビングできない場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。
● 録画機側のメニューの設定に関係なく、再生テープの「音声記録」モードと同じモードでダビングされます。
● 録画機側のモニター映像（液晶モニターやファインダー、テレビに映した映像）の画面下部がゆがんだり、上下に揺れることがありますが、異常ではありません。実際に記録される映像には影響ありません。
● 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を本機で録画すると、再生時に映像がモザイクになります。

④ アフレコ

撮ったあとに別の音声を入れる

テープに撮った映像に、あとから BGM やナレーションを入れることができます。

● [▶] テープ再生モードにしておく

1 フリースタイルリモコンや外部マイクなどを REMOTE/MIC 端子へ「グッ」と奥まで差し込む

2 音声を入れる場面を探し、再生を一時停止する

3 アフレコの準備状態にする

4 録音を始める

- フリースタイルリモコンの場合は、TALK ボタンを押しながら録音を始める。
- マイクに向かって音声を入れる。

5 録音を終わる

- アフレコ中に無記録部分があると、その部分を再生したときに、映像や音声が乱れます。

■ アフレコ録音する前に

- 撮影時のオリジナルの音声も残したい場合は、テープ撮影モードの「セットアップ」メニューの「音声記録」を「12bit」にして撮影してください。(「16bit」設定時は、アフレコ録音後、撮影時の音声は消えます)
- テープ撮影モードの「よく使う設定」メニューの「記録モード」を「SP」にして撮影してください。

■ アフレコした音声を聞くには

アフレコ音声と元の音声を切り換えることができます。

「セットアップ」→「[12bit] 12bit 音声」→ 希望の設定

ステレオ 1 ：元の音声を再生します。
ステレオ 2 ：アフレコ音声を再生します。
ミックス ：元の音声とアフレコした音声を同時に再生します。

■ 音声を聞きながらアフレコするには

「ステレオ 2」に設定すると、マイク入力時にヘッドホンを使って、音声を聞きながらアフレコできます。(ヘッドホンを使う場合、「基本設定」メニューの「AV 端子」を「出力 / 🎧」に設定してください)

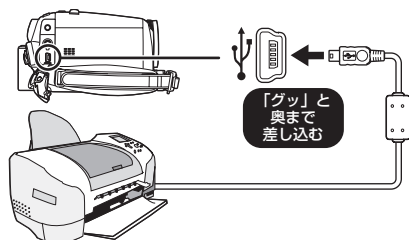
■ マイク接続には以下の接続コード(別売)を使用します

- 大型ステレオプラグのヘッドホン端子の場合：
  ミニ録音コード S/RP-CA6A
- ピンプラグ- 2 の出力端子の場合：
  大型・ミニラインコード S/RP-CA59A
- ミニステレオプラグのヘッドホン端子の場合：
  ミニ・ミニ録音コード S/RP-CA2A

① PictBridge（ピクトブリッジ） ―― プリンターに直接つないでプリントする

PictBridgeに対応したプリンターが必要です。（プリンターの説明書もお読みください）

● カードを入れて、カード再生モードにしておく

1 USB接続ケーブル（付属）をUSB端子へ「グッ」と奥まで差し込んで、プリンターと接続する

- 本機の画面に「PictBridge」が表示されます。（プリンターの認識中は点滅します）
- 本機にカードが入っていないときは、「PictBridge」は表示されません。（プリントできません）
- 「PictBridge」が点滅し続ける（約1分以上）場合は、本機とプリンターの接続が正しくありません。ケーブルを接続し直すか、プリンターを確認してください。
- 電源はACアダプターを使うことをおすすめします。
- 画像をマルチ画面で表示しているときはプリントできません。

2 「シングルプリント」または「DPOFプリント」を選ぶ

- DPOF設定されたファイルがない場合は、選択できません。
- 「DPOF プリント」の場合、用紙サイズを決定して（手順6）、プリントできます。（「DPOF プリント」は日付プリントに対応していません）

3 プリントする画像を左右で選び、ジョイスティックの中央を押す

4 プリントする枚数を選ぶ

- 最大で9枚まで設定できます。

5 日付プリントの設定を選ぶ

- プリンターが日付印刷に対応していないと、設定できません。

6 用紙のサイズを選ぶ

「標準」 ：プリンターに設定されているサイズ
「L」 ：L版サイズ
「2L」 ：2L版サイズ
「ハガキ」：はがきサイズ
「A4」 ：A4サイズ

- プリンターが対応していないサイズには設定できません。

7 「プリント」の「する」を選んで、プリントする

【プリントを途中でやめるには】

ジョイスティックを下にたおす

① PictBridge（つづき）

ピクトブリッジ

プリンターに直接つないでプリントする

- プリント中は以下の操作をしないでください。正しくプリントされません。
  - USB 接続ケーブルを抜く
  - カードを取り出す
  - モードダイヤルを回す
  - 電源を「切」にする
- 用紙サイズや印字品質など、プリンターの設定を確認してください。
- 本機で再生できない画像はプリントできません。
- テープ撮影 / 再生モード時に本機とプリンターを接続すると、画面に［ WEB］または［ WEB］表示が出ることがありますが、画像のプリントはできません。

カードへの記録枚数

記録枚数

■ 静止画の画質と記録枚数［SD メモリーカード使用時］

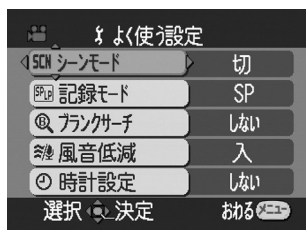
記録画素数	1760 (1760 × 1320)	
写真画質	ファイン	スタンダード
32 MB	約 24 枚	約 40 枚
64 MB	約 52 枚	約 84 枚
128 MB	約 100 枚	約 161 枚
256 MB	約 208 枚	約 335 枚
512 MB	約 414 枚	約 666 枚
1 GB	約 831 枚	約 1334 枚

記録画素数	1280 (1280 × 960)		640 (640 × 480)	
写真画質	ファイン	スタンダード	ファイン	スタンダード
32 MB	約 47 枚	約 76 枚	約 220 枚	約 440 枚
64 MB	約 98 枚	約 158 枚	約 440 枚	約 880 枚
128 MB	約 187 枚	約 302 枚	約 880 枚	約 1760 枚
256 MB	約 390 枚	約 628 枚	約 1760 枚	約 3520 枚
512 MB	約 774 枚	約 1246 枚	約 3520 枚	約 7040 枚
1 GB	約 1550 枚	約 2495 枚	約 7040 枚	約 14080 枚

● 「ファイン」、「スタンダード」が混在している場合や撮影される被写体によっては、静止画の記録枚数は変動します。

① メニュー一覧

テープ撮影メニュー

■ よく使う設定

SCN シーンモード	(P44)
記録モード	(P29)
ブランクサーチ	(P31)
風音低減	(P39)
時計設定	(P23)

■ お好み設定

写真画質	(P33)
フラッシュ	(P40)
赤目軽減	(P40)
フラッシュ明るさ	(P40)
手ぶれ補正	(P43)
ホットシューマイク	(P64)
ワイド	(P42)
シネマ	(P42)
USB 機能	※
デジタルズーム	(P34)
ズームマイク	(P34)
日時表示	(P64)
初期設定	(P65)

■ セットアップ

フェード色	(P39)
音声記録	(P64)
撮影ランプ	(P64)
画面表示	(P64)
リモコン設定	(P26)
お知らせブザー	(P64)
液晶 AI	(P24)
液晶調整	(P24)
EVF 明るさ	(P24)
デモモード	(P65)
AV 端子	(P65)
パワーセーブ	(P64)

■ LANGUAGE（ランゲージ）

日本語	(P23)
English	(P23)

※「お好み設定」の「USB 機能」については、別冊のパソコン接続編取扱説明書をご覧ください。

テープ再生メニュー

下記に記載のないメニューは、テープ撮影メニューの同名の項目を参照してください。

■ 応用設定

録画待機	(P57)
カメラ情報	(P65)
リピート再生	(P48)

■ セットアップ

12bit 音声	(P58)
音声切換	(P65)

カード記録メニュー

下記に記載のないメニューは、テープ撮影メニューの同名の項目を参照してください。

■ よく使う設定

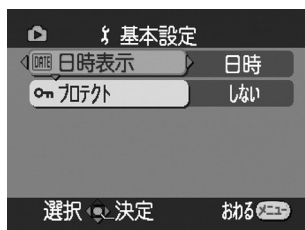
記録画素数	(P33)
セルフタイマー	(P41)

■ お好み設定

連写	(P43)
シャッター効果	(P33)

カード再生モード

下記に記載のないメニューは、テープ撮影メニューの同名の項目を参照してください。

■ 基本設定

プロテクト	(P53)

■ 応用設定

DPOF 設定	(P54)
フォーマット	(P53)

その他

② 撮影関連のメニュー

■ ホットシューマイク

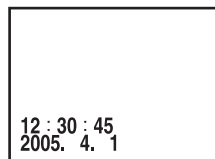
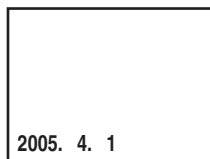
・ノーマル　・ローカット

ローカットにすると、ホットシューに取り付けたステレオズームマイクロホン /VW-VMH3（別売）に当たる風雑音や低域ノイズなどを抑えます。

■ DATE 日時表示

・切　・日時　・日付

年月日 / 時刻の表示を切り換えます。

- 本機は撮影した年月日 / 時刻をテープに自動的に記録しています。
- 画面の表示を図のように切り換えられます。
- ワイヤレスリモコンの年月日 / 時刻ボタンを押しても表示を切り換えられます。

■ ♪ 音声記録

・12bit　・16bit

音声（PCM（ピーシーエム）音声）の記録方法を切り換えます。

12bit

12 bit 32 kHz 4 トラックで記録します。
（あとでアフレコしたときに元の音声を残せます）

16bit

16 bit 48 kHz 2 トラックで記録します。
より高音質で記録できます。
（アフレコすると元の音声は消去されます）

■ 撮影ランプ

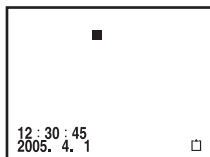
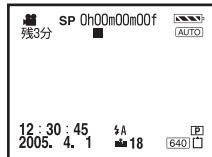
・切　・入

撮影お知らせランプは、撮影中に点灯、リモコン受信時に点滅します。「切」にすると、撮影中にランプは点灯しません。

■ 画面表示

・切　・入

画面の表示を切り換えます。

- 画面の表示を図のように切り換えられます。

■ お知らせブザー

・切　・入

記録の開始や終了などを音で確認できます。
「切」にすると、撮影の開始 / 終了時などにブザーが鳴りません。

「ピッ」

撮影開始時や電源を「入」にすると鳴ります。

「ピピッ」

撮影の一時停止時に鳴ります。

「ピピッ、ピピッ…（連続 4 回）」

誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき、つゆつき（P76）が起こったときなどに鳴ります。画面に出る文章表示（P68）の内容を確認してください。

■ パワーセーブ

・切　・5分

切

約 5 分間操作しなかった場合、テープ保護のためスタンバイモードになります。スタンバイモードになると「▮▮」が点滅し、撮影開始／一時停止ボタンを押してから撮影が始まるまでに、通常より時間がかかります。

5 分

約 5 分間操作しなかった場合、テープ保護やバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。再度お使いになるときは、電源スイッチを入れ直してください。

- USB 接続ケーブルまたは DV ケーブル接続時、および PC 接続モードでは、自動的に電源が切れません。

③ 再生関連のメニュー

■ AV 端子

・出力 / 🎧　　・出力

AV/🎧 端子の出力設定を切り換えます。

出力 / 🎧

AV出力とヘッドホン出力を自動で切り換えます。

出力

「出力 / 🎧 」にしてテレビなどに映像・音声が正常に出力されないときは、こちらを選んでください。

- 「出力」にしてヘッドホンを使うと、右音声に「ブー」という音が聞こえます。ヘッドホンを使うときは「出力 / 🎧 」に設定してください。

■ カメラ情報

・切　　・入

撮影時の設定情報（シャッター速度、絞り / ゲイン値、白バランス設定など）を表示します。

- 「フルオート」の場合、カメラ情報は「AUTO」と表示されます。
- 設定情報がない場合、「ーーー」と表示されます。
- 本機のカメラ情報が入ったテープを他機で再生すると、正常に設定情報が表示されないことがあります。

■ ♪ 音声切換

再生する音声を切り換えます。

・ステレオ　　・L　　・R

ステレオ

ステレオ音声（主音声と副音声）

L

左チャンネルの音声（主音声）

R

右チャンネルの音声（副音声）

④ その他のメニュー

■ 初期設定

・しない　　・する

機能の組み合わせによって選択できないメニューがあるときなどに、メニューをお買い上げ時の設定に戻します。

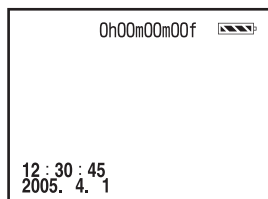
■ デモモード

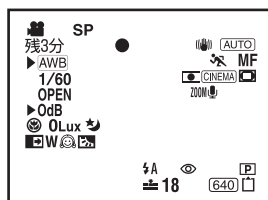
・切　　・入

本機の紹介（デモ）を始めます。

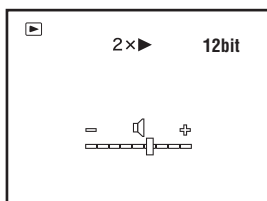
- カセットおよびカードが入っていない状態で「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。何か操作をするとデモは中断しますが、約 10 分以上操作がないと、再び自動的に始まります。カセットまたはカードを入れるか、「デモモード」を「切」にすると停止します。通常は「切」にしてお使いください。

5 画面の表示

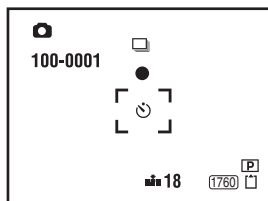
基本表示

(バッテリー表示)	バッテリー残量表示
0h00m00s00f	タイムコード
12:30:45 2005. 4. 1	時刻 年月日

撮影表示

残 30 分	テープ残量表示
SP LP	標準モード 長時間モード
●	撮影中
❚❚（緑点灯） ❚❚（緑点滅） ❚❚（赤点灯）	撮影の一時停止中 スタンバイモード中 フェードアウト中
	撮影の確認中
CINEMA	シネマモード
WIDE	ワイドモード
	デジタルズーム
AUTO	フルオートモード
MNL	マニュアルモード
MF	マニュアルフォーカス
2×	ズーム倍率表示
	逆光補正
	手ぶれ補正
1/60	シャッター速度
F2.0	絞り値
6dB	ゲイン値
WEB	WEB カメラモード

	美肌モード
	テレマクロ機能
W B	フェード（白） フェード（黒）
 0Lux	カラーナイトビュー 0Lux カラーナイトビュー
ϟ、ϟ－、 ϟ＋、ϟA、 ϟA＋、ϟA－、	フラッシュ
	赤目軽減
ZOOM	ズームマイク
	風音低減
	フリースタイルリモコンのマイク使用時
	ホットシュー対応外部マイク
LOWCUT	ホットシュー対応外部マイク（ローカット）
	スポーツモード ポートレートモード ローライトモード スポットモード サーフ & スノーモード
AWB	オートモード 屋内（白熱電球）モード 屋外モード 蛍光灯モード セットモード

再生表示

●	録画中
▶	再生中
❚❚	再生の一時停止中
▶▶	早送り / 早送り再生中
◀◀	巻き戻し / 巻き戻し再生中

❚▶ / ◀❚	スロー / 逆スロー再生中
❚❚▶ / ◀❚❚	正 / 逆方向コマ送り中
2×▶	可変速サーチ中
▶	リピート再生
▶ WEB	WEB カメラモード
ｱﾌﾚｺ ●	アフレコ中
ｱﾌﾚｺ ❚❚	アフレコ一時停止中
Ⓑ	ブランクサーチ中
12bit、16bit	音声記録モード
	音量表示

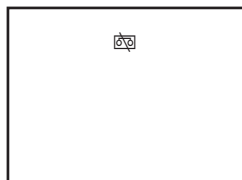
カード表示

P	プログレッシブ
○（白） ●（緑）	シャッターチャンスマーク
	連写カードショット
	セルフタイマー
（白） （緑）	フォトショットモード アクセス中（記録操作不可） フォトショット中 認識できないカードを使用
、	静止画の画質
0	静止画の残り記録可能枚数 （残り0枚で赤色点滅となります）
	スライドショー実行中
PictBridge	PictBridge 対応プリンター接続時
100-0001	フォルダー / ファイル名表示
No.　10	データ番号

000 枚	DPOF 設定枚数
1	DPOF 設定済み （1 枚以上に設定）
	プロテクト設定済み
 1760 1280 640	静止画の記録画素数 1760 × 1320 1280 × 960 640 × 480
QXGA UXGA SXGA XGA SVGA 640	2048 以上のとき 1600以上2048未満のとき 1280以上1600未満のとき 1024以上1280未満のとき 800以上1024未満のとき 640以上　800未満のとき （640 未満のときは、サイズは表示されません）

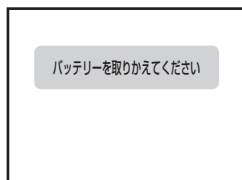
本機で記録していない画像は、水平方向画素数によって上記のようなサイズ表示になります。また、水平方向画素数が 1760、1280、640 の場合は、垂直方向画素数に関係なく 1760、1280、640 が表示されます。

その他

⑤ 画面の表示（つづき）

確認表示

	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れたとき（P16）
または −−	内蔵日付用電池が消耗したとき（P23）

!	● 対面撮影時に警告が出ています。液晶モニターを戻して警告表示を確認してください。（P35） ● WEB　カメラ動作中に警告が出ています。警告の内容についてはQ&Aを参照してください。（P75）
カセットなし	カセットが入っていないとき
カードなし	カードが入っていないとき
リモコン	リモコンの設定が合っていないとき（P26）
テープおわり	撮影中にテープが終端になったとき
ヘッドよごれ	ヘッドが汚れているとき（P77）

文章表示

バッテリーを取りかえてください

つゆつき・この表示が消えるまでおまちください **つゆつき・カセットを取りだしてください**	つゆつきが起こっています。カセットを取り出してしばらくお待ちください。カセットホルダーが開くまでしばらく時間がかかりますが、故障ではありません。（P76）
バッテリーを取りかえてください	バッテリー容量がなくなりました。十分に充電したバッテリーと交換してください。（P14 ～ P15）
カセットを入れてください	カセットが入っていません。（P16）
カセットを取りかえてください	テープに撮影中にテープの終端になりました。
このカセットでは撮影できません	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、撮影操作をしています。（P16）
このカセットでは録画できません	誤消去防止つまみが「SAVE」側になっているカセットを入れて、アフレコや録画（デジタルダビング）操作をしています。（P16）
カセットを取りかえてください	テープに異常を検出しました。
リモコンの設定を確認してください	リモコンの設定が合っていません。電源を入れて、最初のリモコン操作時のみ表示されます。（P26）
再生できません	再生不能のテープかカードです。またはヘッドが汚れています。（P77）
このカセットは使えません	未対応のカセットです。
LP 記録部のため録音できません	LPモードで記録したテープにアフレコ操作をしています。（P29）

コピーガードがありただしく録画できません	著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画しています。（P57）
ビデオカメラでフォーマットしてください	他機でフォーマットしたカードに静止画を記録しようとしています。または未対応のカードあるいは本機で認識できないカードです。フォーマットしてください。（P53）
カードを入れてください	カードが入っていません。（P17）
カード残量がありません	カードがいっぱいで記録できません。画像ファイルなどを削除するか、新しいカードを入れてください。（P17、P52）
カードを確認してください	未対応のカードあるいは本機で認識できないカードです。
データがありません	カードに静止画が記録されていません。データが記録されているのにこの表示が出る場合は、カードの状態が不安定になっていることが考えられます。一度電源を入れ直してください。
ワイド画像は記録できません	S1 信号（16：9）の映像をフォトショットしています。（P55）
ワイドモードを解除してください	ワイドモードで静止画を記録しようとしています。ワイドモードを解除してください。（P42）
削除できません	プロテクト設定されているファイルに削除操作をしています。（P53）
カードがロックされています	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。（P17）
クリーニングテープをかけてください	ヘッドが汚れています。クリーニングテープをかけてください。（P77）
640 モードに切換えてください	連写カードショットをする場合は、「記録画素数」を「640」に設定してください。（P43）
RESET ボタンを押してください	本機が自動的に異常を検出しました。カセットとカードを取り出してから、RESET ボタンを押して本機を再起動させてください。（P75）
USB は使えません モードをかえてください	カード記録モードでUSB接続ケーブルをつないでいます。
USB ケーブル接続中のため操作はできません	USB 接続ケーブルをつないだ状態で、テープ / カードに記録しようとしています。
モード切換時は USB ケーブルを抜いてください	USB接続ケーブルをつないだ状態で、PC接続モードから他のモードに切り換えています。
プリンタを確認してください インクがありません 用紙がありません	接続しているプリンターを確認してください。
フォーマットできません	故障したカードをフォーマットしようとしています。
パソコンがUSB2.0に対応していません	USB2.0 に対応していないパソコンに接続しています。
DVケーブル接続中のためUSBは使えません	DV ケーブルを接続中に USB 接続ケーブルを接続しています。

① 同時に使えない機能一覧

本機では仕様上、お使いの機能によって使えなくなったり、選べなくなる機能があります。下の表は機能が制限される例です。

使えない機能	使えなくなる条件
プログレッシブ	● テープ/カード同時記録時 ● デジタルズーム(約 10 倍以上)使用時 ● テープ撮影モードで、シャッター速度が 1/750 以上のとき ● テープ撮影モードで、ゲイン値を上げたとき ● テープ撮影モードで、フラッシュを「⊛」に設定していて、明るさが不十分なとき ● カラーナイトビュー使用時 ● テープ撮影モードで、シーンモードの「(ポートレート)」設定時 ● ワイドモード設定時
デジタルズーム **ワイドモード** **フェード**	● カード記録モード
手ぶれ補正	● カード記録モード ● カラーナイトビュー使用時
逆光補正	● 絞り・ゲイン設定時
美肌モード **テレマクロ機能** **撮影チェック**	● テープ撮影中
カラーナイトビュー	● テープ撮影中 ● カード記録モード
連写カードショット	● 記録画素数「640」以外に設定時
フラッシュ	● テープ撮影中 ● デモモード中 ● 連写カードショット時 ● カラーナイトビュー使用時 ● オールウェザーパック(別売)接続中
ズームマイク **風音低減**	● フリースタイルリモコンのマイクや外部マイク使用時
シーンモード	● フルオート時 ● カラーナイトビュー使用時
白バランスモードの変更	● デジタルズーム(約 10 倍以上)使用時 ● カラーナイトビュー使用時 ● メニュー表示中
シャッター速度 **絞り・ゲインの調整**	● カラーナイトビュー使用時 ● シーンモード使用時
可変速サーチ	● リピート再生中
ファイル削除	● カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっているとき ● プロテクト設定時
フォーマット	● カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっているとき
アフレコ	● LP モードで記録された部分 ● 無記録部分 ● DV 端子からの入力音声

② Q&A

電源 / 本体関係

こんなときは？	ご確認ください
電源が入らない	● **バッテリーは十分に充電されていますか？** →十分に充電されたバッテリーをお使いください。（P14） ● **バッテリーの保護回路が動作している可能性があります。バッテリーを AC アダプターに 5 ～ 10 秒取り付けてみてください。（P14）それでも使用できない場合は、バッテリーの故障です。**
電源が勝手に切れる	● **本機を約5分間記録操作しないと、テープ保護とバッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる場合があります。（P64）再び撮るときは、電源スイッチを「切」にしてから、再度「入」にしてください。** **また、パワーセーブ（P64）を「切」に設定すると、自動的に電源は切れません。**
電源が入ってもすぐに切れる	● **バッテリーが消耗していませんか？** →バッテリー残量表示が点滅していたり、「バッテリーを取りかえてください」のメッセージが出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか、十分に充電されたバッテリーを付けてください。（P14 ～ P15） ● **つゆつきになっていませんか？** →寒いところから暖かいところにビデオカメラを持ち込んだときなどは、内部につゆつきが発生することがあります。この場合は自動的に電源が切れ、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P76）
バッテリーの消耗が早い	● **十分に充電されていますか？** → AC アダプターで充電してください。（P14） ● **低い温度のところで使っていませんか？** →バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度のところでは、使用できる時間が短くなります。 ● **バッテリーが寿命になっていませんか？** →バッテリーには寿命があります。寿命は使いかたによって変わりますが、十分に充電しても使用できる時間が短いときは、バッテリーの寿命です。
電源が入っているのに何も操作できない 正常に動作しない	● **カセットを取り出してから、RESET ボタンを押してください。（P75）それでも直らない場合は、電源を外して 1 分程度たってから再度電源を入れ直してください。（「カード動作中ランプ」が点灯中に上記の操作を行うと、カードのデータが破壊されることがあります）**
カセットの取り出しができない	● **カセットカバーを開いたとき、電源ランプは点灯しますか？（P18）** →バッテリーや AC アダプターが正しく接続されていることを確認してください。（P14 ～ P15） ● **放電したバッテリーを使用していませんか？** →バッテリーを充電してから取り出してください。 ● **カセットカバーを一度完全に閉じてから、再度最後まで開いてください。（P16）**

② Q&A（つづき）

こんなときは？	ご確認ください
カセットの取り出し操作以外何も操作できない	● つゆつきになっていませんか？ →つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P76）
ワイヤレスリモコンが働かない	● リモコンのコイン電池が消耗していませんか？ →新しいコイン電池と交換してください。（P25） ● リモコンの設定は合っていますか？ →リモコンと本機のリモコン設定が合っていないと、操作しても動作しません。（P26）

撮影関係

こんなときは？	ご確認ください
電源、カセットを正しく入れているのに撮影できない	● カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか？ →誤消去防止つまみが開いている（[SAVE] 側になっている）と撮影できません。（P16） ● カセットがテープ終端（テープの一番最後）になっていませんか？ →新しいカセットに交換してください。 ● テープ撮影モードにしていますか？ →テープ再生モードになっているときは撮影できません。（P18） ● つゆつきになっていませんか？ →つゆつき時は、カセット取り出し以外の操作はできなくなります。つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P76）
撮影の途中で、「このカセットは使えません」と表示され、撮影できない	● カセットカバーが開いていませんか？ →カセットカバーが開いていると、本機が正しく動作しないことがあります。カセットカバーを閉じてお使いください。（P16）
画面が急に変わった	● デモが始まったのではないですか？ →テープ撮影モードで、カセットもカードも入れずに「デモモード」を「入」に設定すると、デモが始まります。通常は「切」にしてお使いください。（P65）
カセットが入らない	● つゆつきになっていませんか？ →つゆつき表示が消えるまでお待ちください。（P76）
自動でピントが合わない	● マニュアルフォーカスになっていませんか？ →オートフォーカスにすると自動でピントが合います。 ● オートフォーカスでピントが合いにくい場面を撮影していませんか？ →オートフォーカスでは、ピントの合いにくい場面があります。（P79）この場合はマニュアルフォーカスで手動でピントを合わすことができます。（P46） ● カラーナイトビュー機能を設定していませんか？ →カラーナイトビュー機能を働かせていると、フォーカスはマニュアルになります。

表示関係

こんなときは?	ご確認ください
画面中央に赤または黄色の文字で文章表示が出る	● 内容を確認し、対応してください。(P68 ~ 70)
タイムコード表示がおかしくなる	● 逆スロー再生をすると、タイムコード表示のカウントが一定にならないことがありますが、故障ではありません。
テープ残量表示が消える	● コマ送りなどをすると、一時的にテープ残量表示が消える場合があります。通常の撮影や再生を続けると元に戻ります。
テープ残量表示が実際のテープ残量と合わない	● 約 15 秒以下の連続撮影では、残量表示が正確に出ません。 ● 実際のテープ残量より約 2 ~ 3 分少ない表示が出る場合があります。
機能表示(モード表示、残量表示、カウンター表示など)が出ない	●「セットアップ」メニューの「画面表示」が「切」になっていると、テープ走行状態、警告、日付表示など以外は消えます。

再生関係(音声)

こんなときは?	ご確認ください
本機のスピーカーから再生音声が出ない	● 音量調整が小さくなりすぎていませんか? →再生時にズームレバーを押して音量表示を出し、音量を調整することができます。(P48)
音声が重なって聞こえる	●「セットアップ」メニューの「12bit 音声」を「ミックス」に設定していませんか? →「音声記録」を「12bit」にして撮影したテープにアフレコ編集すると、撮影時の音声とあとから録音した音声を同時に重ねて聞くことができます。それぞれを別々に聞く場合は「ステレオ 1」か「ステレオ 2」にしてください。(P58) ●「セットアップ」メニューの「音声切換」を「ステレオ」に設定して、主音声、副音声の入った映像を再生していませんか? →主音声を聞くときは「L」、副音声を聞くときは「R」に設定してください。(P65)
アフレコができない	● カセットの誤消去防止つまみが開いていませんか? →誤消去防止つまみが開いている([SAVE] 側になっている)とアフレコできません。 ● LP モードで撮影した部分にアフレコしようとしていませんか? → LP モードでは、テープ上のトラック幅がヘッド幅より狭いため、アフレコはできません。(P29)
アフレコすると元の音声が消えてしまった	●「16bit」モードで撮影した部分にアフレコすると、元の音声が消えてしまいます。元の音声も残したい場合は、撮影時に「12bit」モードで撮影してください。(P64)
テレビ、本機のスピーカーとも再生音が出ない	● アフレコしていないのに「ステレオ 2」にしていませんか? →アフレコしていない場合、「ステレオ 1」に切り換えてください。(P58) ● 可変速サーチになっていませんか? →可変速サーチ中は音声は出ません。ワイヤレスリモコンの再生ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。(P49)
ヘッドホンの右音声に「ブー」という音が聞こえる	● メニューの「AV 端子」が「出力」になっていませんか? →ヘッドホンを使うときは「出力 / 🎧」にしてください。

② Q&A（つづき）

再生関係（映像）

こんなときは？	ご確認ください
早送り再生、巻き戻し再生をすると、モザイク状のノイズが出る	● デジタル特有の現象です。異常ではありません。
早送り再生､巻き戻し再生をすると､横線が出る	● シーンによっては横線が出る場合がありますが、異常ではありません。
テレビと正しく接続しているのに再生映像が出ない	● テレビの入力切換がビデオ入力になっていますか？ →テレビの説明書をよくお読みになり、接続したビデオ入力端子を選んでください。
再生映像がきれいに映らない	● 本機のヘッドが汚れていませんか？ →ヘッドが汚れていると、再生画像がきれいに映りません。デジタルビデオ用ヘッドクリーナー（別売）を使ってヘッドをクリーニングしてください。（P77） ● 映像･音声コードの端子部が汚れていると、画面にノイズが入ることがあります。柔らかい布で汚れをふき取ってから、AV/ 端子に接続してください。 ● 著作権保護の信号（コピーガード）が入っている映像を録画していませんか？ →このようなカセットを本機で再生すると、映像がモザイクになります。

カード関係

こんなときは？	ご確認ください
静止画がきれいに記録されない	●「 」にして、細かいものを記録していませんか？ →「 」で細かいものを記録すると、画像がモザイク状になることがあります。「 」にして記録してください。（P33）
カードに記録されたファイルが削除できない	● ファイルがプロテクトされていませんか？ →プロテクト設定をしていると削除できません。（P53） ● SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっていると削除できません。（P17）
カードの画像がおかしい	● データが壊れている可能性があります。データは静電気や電磁波で壊れることがあります。大切なデータは、カセットやパソコンなどにも記録するようにしてください。
カードをフォーマットしても使えるようにならない	● 本機またはカードの故障と思われます。お買い上げの販売店にご相談ください。
カード再生中に「再生できません」と表示される	● 形式の異なるデータや壊れたデータを再生しています。

その他

こんなときは？	ご確認ください
表示が消える 画面が動かなくなる 操作できなくなる	● 電源を切ってください。電源が切れないときは、RESET ボタンを押すか、バッテリー、AC アダプターを外して付け直してください。そのあと電源を入れ直してください。それでも正常に動作しない場合は、接続している電源を外し、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（P102 ～ 103）にお問い合わせください。
「RESET ボタンを押してください」と表示される	● 本機が自動的に異常を検出しました。データ保護のためにカセットとカードを取り出してから、Ⓐ の突起部で RESET（リセット） ボタンを押してください。本機が再起動します。 ● RESET ボタンを押さなかったときは、約 1 分後に自動的に電源が切れます。 ● RESET ボタンを押しても、何度も繰り返し表示されるときは修理が必要です。接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。お客様での修理はご遠慮ください。
USB接続ケーブルをつないでもパソコンが認識しない	● USB ドライバーはインストールされていますか？ →詳しくは、パソコン接続編取扱説明書（別冊）をお読みください。
USB接続ケーブルを外したらパソコンにエラーメッセージが出る	● USB 接続ケーブルを安全に外すために、タスクトレイの アイコンをダブルクリックしてから、画面の指示に従ってください。
編集、デジタルビデオ機器からのダビング、「MotionDV STUDIO 5.3J LE for DV」の使用時に誤動作する	● 同じテープ上に SP と LP（記録モード）、12bit と 16bit（音声記録モード）、ノーマルとワイド、記録部分と無記録部分などモードが混在して記録されていると、モードが切り換わるところで誤動作することがあります。編集などをする場合、モードが混在しないように記録してください。
WEB カメラモードで動作中に警告表示「!」が出る	● メニューボタンや撮影開始/一時停止ボタンなどを押しましたか？ → WEB カメラモード中は、メニュー操作やテープ / カードへの記録ができません。 ● リモコンの設定は合っていますか？（P26） ● カセットが入っていない状態で、テープの再生操作をしてませんか？ →カセットを入れてください。 ● コピーガードがかかっているテープを再生しましたか？ →コピーガードがかかっているテープの映像は、パソコンで表示できません。（音声は再生されます） ● ビデオストリームドライバーがインストールされていますか？ →詳しくは、パソコン接続編取扱説明書（別冊）をお読みください。

③ つゆつきについて

夏に冷蔵庫から出したビンなどに、しばらくすると水滴が付きます。この現象が「つゆつき」です。
つゆつきが本機のヘッド（テープが密着する部分）やカセット（テープ）に起こると、テープがはり付いてヘッドやテープを傷めたり、正常に記録できないことがあります。

つゆつきが起こる原因は

下記のように温度差、湿度差があると起こります。

- 寒い屋外（スキー場のゲレンデなど）から暖かい屋内に持ち込んだとき
- 冷房の効いた車などから車外へ出したとき
- 寒い部屋を急に暖房したとき
- エアコンなどの冷風が本機に直接当たっていたとき
- 夏の夕立のあと
- 湯気がたち込めるなど湿度の高いところ（温水プールなど）

つゆつきのトラブルを防ぐには

環境条件によっては、つゆつき表示が出ない場合があります。レンズや本体につゆが付いているときは、ヘッドやテープにもつゆが付く場合がありますので、カセットカバーを開けないでください。

■ 寒いところから暖かいところなどの温度差の激しい場所へ持ち込むときは

例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入るときは、カセットカバーを閉じた状態でビニール袋などに本機を入れ、空気を抜き、密封してください。約 1 時間その状態で、移動先の室温になじませてからご使用ください。

レンズがくもっているときの処置のしかた

電源スイッチを「切」にし、約 1 時間ほどそのままにしておいてください。周囲の温度になじむとくもりが自然に取れます。

つゆつき表示が出た場合の処置

ヘッドやテープにつゆつきが起こっているときに電源を入れると、黄色または赤色で警告が表示されます。（下図）

ファインダーや液晶モニターに下図の
警告文章が黄色または赤色で表示されます。

カセットが入っている場合

つゆつき・カセットを
取りだしてください

カセットが入っていない場合

黄色表示

ヘッドやテープにうっすらつゆが付いている状態

赤色表示

ヘッドやテープに完全につゆつきが起こっている状態

■ 以下の処置を行ってください。

1）カセットが入っている場合は、カセットを取り出す

- カセットカバーを開けてから、カセットホルダーが開くまで約 20 秒かかりますが、故障ではありません。

2）カセットカバーを閉じた状態で放置し、その場所の環境になじませる

Ⓐ 文章が黄色の場合

テープ撮影 / 再生モードは使えなくなります。ただし、カセットが入っていないときは、カード記録 / 再生モードは使えます。
つゆつき表示が消えるまでのめやすは約 30 分です。

Ⓑ 文章が赤色の場合

電源ランプが約 1 分間点滅し、自動的に電源が切れます。つゆつき表示が消えるまでのめやすは約 2 ～ 3 時間です。

3）テープ撮影またはテープ再生モードにして電源スイッチを入れ直し、つゆつき表示が消えていれば、テープへの撮影や再生が可能になります

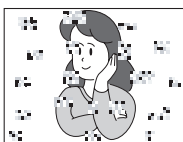
- 特に温度が低い寒冷地では、つゆが凍結し、霜になることがあります。このような場合、表示が消えるまでにさらに時間がかかることがあります。

④ヘッド汚れについて

■ 撮影や再生時にビデオヘッド（テープが密着する部分）が汚れると、正常な記録や再生ができなくなりますので、デジタルビデオ用ヘッドクリーナーでヘッドをクリーニングしてください。

- デジタルビデオ用ヘッドクリーナーは、AY-DVMCL（別売）または VFK1449S（別売・サービスルート扱い）をお求めいただくことをおすすめします。
- ヘッドクリーナーをビデオカメラに入れ、テープ再生モードにして、約 10 ～ 20 秒をめやすに再生してください。（再生を停止しなかった場合は、約 30 秒後に自動的に停止します）
- 定期的にヘッドをクリーニングされることをおすすめします。

■ ヘッドが汚れると、撮影時に「クリーニングテープをかけてください」と表示されます。また、再生時には以下のような症状が出ます。

- 部分的にモザイク状のノイズが出たり、音声が途切れる

- 黒または青のモザイク状の横しまが出る

- 画面全体が青一色になり、映像や音声が出ない

■ ヘッドをクリーニングしても正常に再生できないときは

撮影時にヘッドが汚れていたために正常に記録できなかったと考えられます。
ヘッドをクリーニングしてからもう一度撮影して、正常に再生できれば、ヘッドはきれいになっています。
大切な撮影時は、必ず事前にためし撮りをし、正常に記録・録音されていることを確かめてください。

- ヘッドをクリーニングしても再びヘッド汚れが発生した場合は、お使いのテープに起因している可能性がありますので、別のカセットをおためしください。
- 再生時に一瞬映像や音声が途切れる場合がありますが、ビデオカメラの故障ではありません。（撮影や再生中、ヘッドに一瞬付いた小さなごみやほこりなどによるものと考えられます）

海外で使う

撮ったものを海外で見るには

テレビに接続して見る場合、日本と同じテレビ方式（NTSC）の映像 / 音声入力端子付テレビと接続コードなどが必要です。

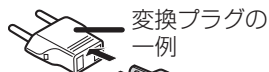
■ 日本と同じ NTSC 方式を採用している国、地域

- ●アメリカ合衆国
- ●アンチグア・バーブーダ
- ●イエメン（一部地域）
- ●英領バーミューダ諸島
- ●エクアドル
- ●エルサルバドル
- ●ガイアナ
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グァテマラ
- ●グァム島
- ●グレナダ
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●ジャマイカ
- ●スリナム
- ●セントクリストファー・ネイビス
- ●セントビンセント・グレナディーン諸島
- ●セントルシア
- ●大韓民国
- ●台湾
- ●チリ
- ●ドミニカ共和国
- ●ドミニカ国
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バルバドス
- ●フィジー
- ●フィリピン
- ●プエルトリコ
- ●米領サモア
- ●ベトナム（一部地域）
- ●ベネズエラ
- ●ベリーズ
- ●ペルー
- ●ボリビア
- ●ホンジュラス
- ●マーシャル諸島
- ●マリアナ諸島
- ●ミクロネシア連邦
- ●ミャンマー
- ●メキシコ

本機の保証書は、日本国内のみ有効です。万一、海外で故障した場合の現地でのアフターサービスについてはご容赦ください。

AC アダプターを海外で使用するには

AC アダプターは、自動で全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V)、電源周波数（50 Hz、60 Hz）に切り換わるように設計されています。ただし、国、地域、滞在先によって電源コンセントの形状は異なります。海外旅行をされる場合は、下表を参考に電源コンセントの形状を確かめ、その国、地域、滞在先に合ったプラグを準備してください。変換プラグは、お買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。充電のしかたは、国内と同じです。

AC アダプターは、全世界の電源電圧（100 V、120 V、220 V、240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけるように設計しております。
市販の変圧器などを使用すると、故障する恐れがあります。

●ご使用にならないときは変換プラグを AC コンセントから外してください。

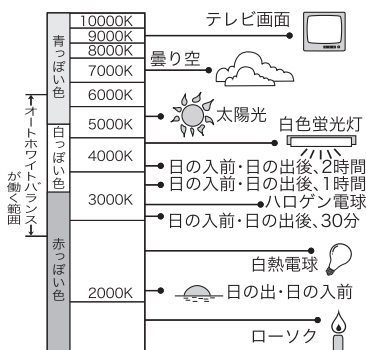
主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米							
アメリカ合衆国	A	カナダ	A				
ヨーロッパ・旧ソ連地域							
アイスランド	C	アイルランド	C	イギリス	B.BF	イタリア	C
ウクライナ	C	オーストリア	C	オランダ	C	カザフスタン	C
ギリシャ	C	スイス	B.C	スウェーデン	C	スペイン	A.C
デンマーク	C	ドイツ	C	ノルウェー	C	ハンガリー	C
フィンランド	C	フランス	C	ベラルーシ	C	ベルギー	C
ポーランド	B.C	ポルトガル	B.C	ルーマニア	C	ロシア	C
アジア							
インド	B.C	インドネシア	B.C	シンガポール	B.BF	スリランカ	B
タイ	A.BF.C	大韓民国	A.B.C	台湾	A	中華人民共和国	A.B.BF.C.S
ネパール	C	パキスタン	B.C	バングラデシュ	C	フィリピン	A.C.S
ベトナム	A.C	香港特別行政区	B.BF	マカオ特別行政区	B.C	マレーシア	B.BF.C
モルジブ	B	モンゴル	C				
オセアニア							
オーストラリア	S	グァム島	A	タヒチ	C	トンガ	S
ニュージーランド	S	フィジー	S				
中南米							
アルゼンチン	BF.C.S	コロンビア	A	ジャマイカ	A	チリ	B.C
ハイチ	A	パナマ	A	バハマ	A	プエルトリコ	A
ブラジル	A.C	ベネズエラ	A	ペルー	A.C	メキシコ	A
中東							
イスラエル	C	イラン	C	クウェート	B.C	ヨルダン	B.BF
アフリカ							
アルジェリア	A.B.BF	エジプト	B.BF.C	カナリア諸島	C	ギニア	C
ケニア	B.C	ザンビア	B.BF	タンザニア	B.BF	南アフリカ共和国	B.C
モザンビーク	C	モロッコ	C				

タイプ	形状	変換プラグ
A		不要
B		
BF		
C		
S		

用語解説

オートホワイトバランス

本機は数種類の光源の下での白色情報をあらかじめ記憶しています。撮影時の光源がどのようなものか、白バランスセンサーとレンズからの情報によって判断し、記憶している白バランスの中から最も近いものを選びます。
この機能のことをオートホワイトバランスといいます。
しかし、数種類の光源での白色情報しか記憶していないので、それ以外の光源の下での撮影では、白バランスが正常に働きません。

オートホワイトバランスが働く範囲は、図のとおりです。範囲外での撮影では、映像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、図の範囲内にあっても、光源が複数の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かない場合があります。この場合、手動で白バランスを調整してください。

白バランス（ホワイトバランス）

ビデオカメラで撮影すると、光源の影響を受け赤っぽく撮れたり、青っぽく撮れたりすることがあります。このような現象が起こらないように、白バランスという調整をします。
白バランスとは、様々な光源の下での白い色を決めることです。太陽の光の下での白い色とはどれなのか、蛍光灯の光の下での白い色とはどれなのかを認識させることによって、その他の色のバランスを調整します。
白色はすべての色（光）の基本になるので、基準となる白色を認識することができれば、自然な色合いで撮ることが可能になります。

オートフォーカス

レンズを自動的に前後に移動させ、ピントを合わせます。

以下のような特性があります。

- 被写体の縦の線がもっともはっきり見えるように調整する
- よりコントラストの強いものに焦点を合わそうとする
- 画面の中央部にしか焦点が合わない

このような特性のため、次のようなシーンでは、オートフォーカスは正しく働きません。
マニュアルフォーカスで撮影してください。

● 遠くと近くのものを同時に撮る

画面の中央に焦点が合うため、近くのものを撮ると、背景にピントが合いにくくなります。遠くの山を背景に人物を撮る場合、両方に焦点を合わせることはできません。

● 汚れたガラスの向こうのものを撮る

汚れたガラスにピントが合ってしまうので、ガラスの向こう側のものに焦点が合いにくくなります。また、車の往来が激しい道路の向こう側を撮る場合も、横切った車にピントが合ってしまうことがあります。

● キラキラと光るものが周りにある

キラキラ光るものに焦点が合ってしまうので、撮りたいものにピントが合いにくくなります。海辺、夜景、花火、特殊なライトが輝いているところなどではピントがぼけることがあります。

● 暗い場所を撮る

レンズに入ってくる光の情報が少なくなるため、ピントが合いにくくなります。

● 動きの速いものを撮る

機械的にレンズを動かしているため、速い動きには追いつけなくなります。
例えば、激しく動き回る子どもを撮るときは、ピントがぼけることがあります。

● コントラストの少ないものを撮る

コントラストの強いものや縦の線に焦点が合いやすいので、白い壁などコントラストや縦の線がないものには、焦点が合いにくくなります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

絵表示	内容
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
●	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックは、本機専用のACアダプターで充電する

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

AC アダプターは、本機専用のバッテリーパック以外の充電には使わない

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

⚠ 危険

指定以外のバッテリーパックを使わない

バッテリーパックの端子部（⊕・⊖）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない

バッテリーパックを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない

バッテリーパックを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- 不要(寿命)になったバッテリーについては、87ページをご参照ください。
- 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
  液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
  液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本機の金属部や AC アダプターなどの電源プラグに触れない

接触禁止

落雷すると、感電の原因になります。

⚠警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V ～ 240 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

コイン電池やメモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠警告

乗り物を運転しながら使わない

事故の誘発につながります。

● 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

● 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

異常があったときは、電源プラグを抜く

・内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき

・落下などで外装ケースが破損したとき

・煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災・感電の原因になります。

● バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。

● 販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠注意

カセット挿入口に指をはさまれないように注意する

けがの原因になることがあります。

● 特にお子様にはご注意ください。

飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従う

本機が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を及ぼす原因になることがあります。

● 病院などで使うときも、病院の指示に従ってください。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

● カセットやカードは、保護のため取り出しておいてください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

⚠注意

コイン電池は誤った使いかたをしない
- ⊕と⊖は逆に入れない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中に入れたりしない
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周辺汚損の原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約60℃以上）になります。本機やカセット、バッテリー、ACアダプターなどを絶対に放置しないでください。
外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

フラッシュ発光中に、近くで発光部を直接見ない

強い光により、目を痛める原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

フラッシュの発光部分を直接手で触らない

接触禁止

やけどの原因になることがあります。

● 発光直後は、しばらく触らないでください。

使用上のお願い

ビデオカメラについて

- 使用中は本体が温かくなりますが、異常ではありません。

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（携帯電話、電子レンジ、テレビやゲーム機など）からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で映像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、映像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、映像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影映像や音声が悪くなることがあります。

周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

浜辺など砂やほこりの多いところで使うときは、内部や端子部に砂やほこりが入らないようにする
また海水などでぬらさないようにする

- 砂やほこりは、本機やテープの故障につながります。（カセット、カードの出し入れ時はお気を付けください）
- 万一海水がかかったときは、よく絞った布でふき、そのあと、乾いた布でふいてください。

本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしない

- 強い衝撃が加わると、外装ケースがこわれ、故障する恐れがあります。

お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わない

- お手入れの際は、バッテリーを外しておく、または電源プラグをコンセントから抜いておきます。
- 溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- 本機は、柔らかい乾いた布でほこりや指紋をふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

監視用など、業務用として使わない

- 長時間使うと、内部に熱がこもり故障する恐れがあります。
- 本機は業務用ではありません。

フラッシュについて

- フラッシュの内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になりますので、分解しないでください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなるまたは、低くなるほど影響が大きくなります。温度の低いところでは、満充電表示にならない場合や、使用開始後 5 分くらいでバッテリー警告表示が出る場合があります。また高温になると保護機能が働き、使用できない場合もあります。

使用後は、必ずバッテリーを外す

- 付けたままにしておくと、本機の電源が「切」であっても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと、過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなる恐れがあります。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- 撮影したい時間の3～4倍のバッテリーを準備してください。スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプターも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグも必要です。（P78）

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本体やAC アダプターに付けると、本体や AC アダプターをいためます。

使用後は、必ずカセットを取り出し、バッテリーを外す、または、電源プラグをコンセントから抜く

- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度 :15 ℃～ 25 ℃、推奨湿度 : 40% ～ 60%です）
- 極端に低温、高温になるところで保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
- 高温･多湿、油煙の多いところでは、端子がさびたりして故障の原因になります。
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回は充電し、ビデオカメラで充電容量を使いきってから再保管することをおすすめします。
- バッテリーの端子部に付いたほこりなどは取ってください。

不要（寿命になったなど）バッテリーは火中などに投入しない

- 加熱したり火中などに投入すると、破裂する恐れがあります。
- 充電直後でもバッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い求めください。

不要になった電池（バッテリー）は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください

使用済み充電式電池（バッテリー）の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。
詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ : http://www.jbrc.net/hp

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

充電式
リチウムイオン
電池使用

使用上のお願い（つづき）

AC アダプターについて

- 熱くなっているバッテリーは、通常より充電時間が長くかかります。
- バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、[CHARGE] ランプが点滅し続け、充電できないことがあります。バッテリーの温度が適温になったあと、自動的に充電が始まりますので、しばらくお待ちください。それでも［CHARGE］ランプが点滅し続ける場合は、バッテリーまたは AC アダプターが故障している可能性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中、AC アダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています）
- AC アダプター、バッテリーの端子部を汚さないでください。

機器を電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

カセットについて

カセットは絶対に高温の場所に置かない

- テープがいたんで、再生時にモザイク状のノイズが出ることがあります。

使用後は、必ずテープを始端まで巻き戻し、取り出して保管する

- カセットを本機に入れたままにしたり、テープを途中で止めた状態で半年以上（保管状態により異なります）置いておくとテープがたるみ、いたみます。
- 半年に一度、テープを巻き直ししてください。テープを 1 年以上巻いたままにしておくと、温度や湿度による膨張、収縮などでゆがみが起きることがあります。またテープどうしがはりついてしまうことがあります。
- ほこりや直射日光（紫外線）、湿気などでテープをいためます。このようなテープを使用すると、本機やヘッドをいためる恐れがあります。
- 使用後は、必ずテープを始端まで巻き戻してから、ほこりなどから守るため、カセットをケースに入れ、立てて保管してください。

カセットに強い磁気を近付けない

- 磁石を使った器具（磁気ネックレスやおもちゃなど）は、思ったより磁気が強く、大切な撮影内容を消したり、ノイズを増やす原因となります。

カードについて

カードの出し入れは必ず電源スイッチが「切」の状態で行う

カード動作中ランプが点灯中（カードにアクセス中）は、カード扉を開けてカードを抜いたり、電源を切らない、また振動や衝撃を与えない

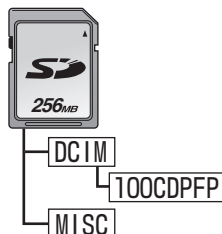
カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない
また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊される恐れがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失する恐れがあります。

使用後は、必ずカードを取り出して、保管する

- 使用後や保管時、持ち運びのときは、収納ケースなどに入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物などを付着させないでください。また、手などで触れないでください。

■ カードのフォルダー構造

本機でフォーマットされたカードは、パソコンで見ると下図のようなフォルダーで構成されています。

- 100CDPFP フォルダーなどには最大で999 枚の画像を記録できます。
- MISCフォルダーにはDPOF設定されたファイルが記録されます。

miniSD™ カード (別売) について

- miniSD™ カードは、必ず専用の miniSD™ アダプターを装着してご使用ください。miniSD™ カードのみを入れると、本機やカードが故障する場合があります。
- miniSD™ アダプターのみを本機に入れないでください。また、miniSD™ アダプターを本機に入れた状態で miniSD™ カードのみを抜き差ししないでください。正常に動作しない場合があります。

液晶モニター / ファインダーについて

- 液晶面が汚れたときは、柔らかい乾いた布でふいてください。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターにつゆが付くことがあります。柔らかい乾いた布でふいてください。
- 寒冷地などで本体が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

液晶モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニター / ファインダーの画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。
液晶モニター / ファインダーの画素については 99.99%以上の高精度管理をしておりますが、0.01%以下で画素欠けや常時点灯するものがあります。また、これらの点はテープやカードの映像には記録されませんのでご安心ください。

定期点検のお願い

美しい映像をご覧いただくために、使用環境（温度、湿度、ほこり）などによって異なりますが、およそ使用 1000 時間をめやすに清掃、ヘッドなどの摩耗部品を交換されることをおすすめします。

Quick guide (English)

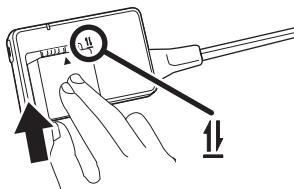
Power supply

■Charging the battery

When this product is purchased, the battery is not charged. Charge the battery before using this product.

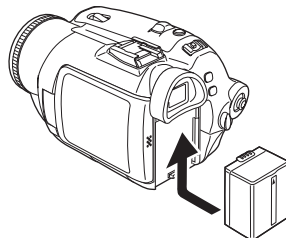
- If the DC input lead is connected to the AC adaptor, then the battery will not get charged. Remove the DC input lead from the AC adaptor.

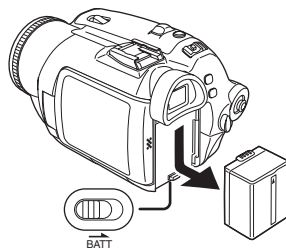
1 Connect the AC mains lead to the AC adaptor and the AC mains socket.

2 Put the battery on the battery mount by aligning the mark, and then securely plug it in.

■Charging lamp

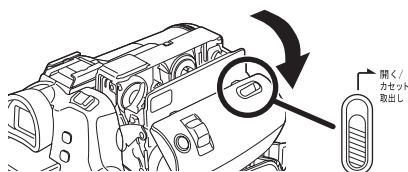
Lights up: Charging
Goes off: Charging completed
Flashing: The battery is over discharged (discharged excessively). In a while, the lamp will light up and normal charging will start.
When the battery temperature is excessively high or low, the [CHARGE] lamp flashes and the charging time will be longer than normal.

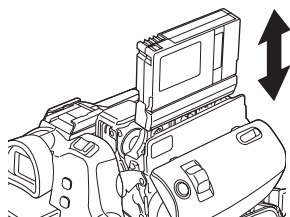
■Fitting the battery

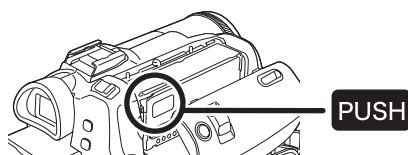
Push the battery (or the DC input lead) against the battery holder and slide it until it clicks.

■Removing the battery

While sliding the [BATT] lever, slide the battery (or the DC input lead) to remove it.

- Hold the battery with your hand so it does not fall.

Inserting/removing a cassette

1 **Slide the [開く / カセット取出し] (OPEN/EJECT) lever and open the cassette cover.**

- When the cover is fully opened, the cassette holder will come out.

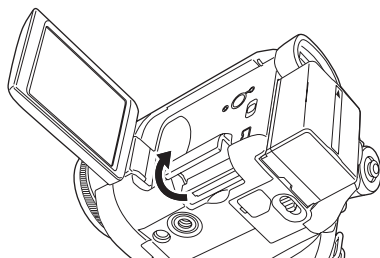
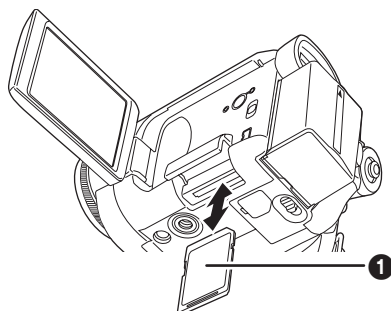
2 **After the cassette holder is opened, insert/remove the cassette.**

- When inserting a cassette, orient it as shown in the figure, and then securely insert it as far as it goes.
- When removing, pull it straight out.

3 **Push the [PUSH] mark in order to close the cassette holder.**

4 **Only after the cassette holder is completely housed, close the cassette cover.**

Inserting/removing a card

Before inserting/removing a card, be sure to turn the power [切] (OFF).

- If the card is inserted or removed with the power turned on, this camera may malfunction or the data recorded on the card may be lost.

1 **Open the LCD monitor and then open the card slot cover.**

2 **Insert/remove the card into/from the card slot.**

- When inserting a card, face the label side ❶ towards you and push it straight in with one stroke as far as it goes.
- When removing the card, open the card slot cover and press the center of the card and then pull it straight out.

3 **Securely close the card slot cover.**

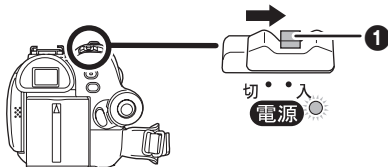
Quick guide (English) (Continued)

Turning the camera on

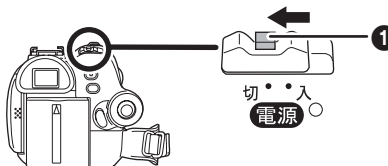
When the camera is turned on with the lens cover closed, the automatic white balance adjustment may not function properly. Please turn the camera on after opening the lens cover.

■How to turn on the power

While pressing the button ❶, set the [電源] (POWER) switch to [入] (ON).

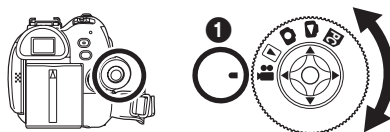
- The [電源] (POWER) lamp lights up.

■How to turn off the power

While pressing the button ❶, set the [電源] (POWER) switch to [切] (ON).

- The [電源] (POWER) lamp goes off.

Selecting a mode

Rotate the mode dial to select your favourite mode.

Rotate the mode dial.

- Set your desired mode to ❶.

: Tape recording mode
Use this when you record the image on a tape. (Also, you can simultaneously record still pictures on a card while recording images on a tape.)

: Tape playback mode
Use this to play back a tape.

: Card recording mode
Use this to record still pictures on a card.

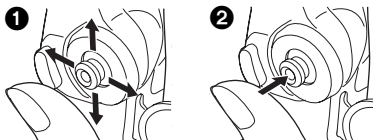
: Picture playback mode
Use this to play back the still pictures recorded on a card.

PC: PC mode
You can view or edit the images recorded on a card on your personal computer. (Refer to the operating instructions for PC connection.)

How to use the joystick

■Basic joystick operations

Operations on the menu screen and selection of files to be played back on the multi-image display

Move the joystick up, down, left, or right to select an item or file, and then push in the center to set it.

❶Select by moving up, down, left, or right.

❷Determine by pushing the center.

■Joystick and screen display

Push the center of the joystick, and icons will be displayed on the screen. Each push switches the display as follows depending on the mode.

(In the Tape playback mode or the Card playback mode, the icons will be automatically displayed on the screen.)

1) **Tape recording mode ([フルオート / マニュアル / フォーカス] (AUTO/MANUAL/FOCUS) switch is set to [フルオート] (AUTO))**

:Tele-macro
:Soft skin mode
:Fade
:Backlight compensation
:Night view/0Lux night view
:Recording check

2) **Tape recording mode ([フルオート / マニュアル / フォーカス] (AUTO/MANUAL/FOCUS) switch is set to [マニュアル] (MANUAL))**

▼ :White balance
Shutter speed
Iris or gain value

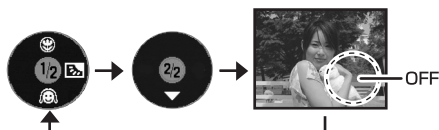
－ ＋ :Select/Adjust

3) **Tape playback mode**

:Playback/pause
■ :Stop
◀◀ :Rewind (review playback)
▶▶ :Fast forward (cue playback)

4) **Card recording mode ([フルオート / マニュアル / フォーカス] (AUTO/MANUAL/FOCUS) switch is set to [フルオート] (AUTO))**

: Tele-macro
: Soft skin mode
: Backlight compensation

5) **Card recording mode ([フルオート / マニュアル / フォーカス] (AUTO/MANUAL/FOCUS) switch is set to [マニュアル] (MANUAL))**

▼ :White balance
Shutter speed
Iris or gain value

－ ＋ :Select/Adjust

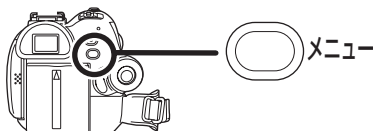
6) **Picture playback mode**

:Playback/stop
:Erase
:Playback previous picture
:Playback next picture

その他

Quick guide (English) (Continued)

Using the menu screen

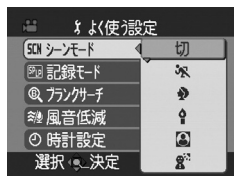
1 **Press the [メニュー] (MENU) button.**

- The menu corresponding to the mode selected by the mode dial is displayed.
- Do not switch the mode dial when the menu is displayed.

2 **Move the joystick up or down in order to select the top menu.**

3 **Move the joystick right or press it to set the selection.**

4 **Move the joystick up or down in order to select the sub-menu.**

5 **Move the joystick right or press it to set the selection.**

6 **Move the joystick up or down in order to select the item to be set.**

7 **Press the joystick to determine the setting.**

■To get back to the previous screen

Move the joystick left.

■To exit the menu screen

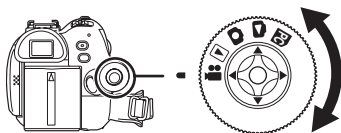
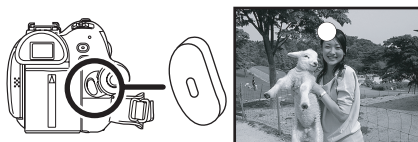
Press the [メニュー] (MENU) button.

Switching the language

You can switch the language on the screen display or the menu screen.

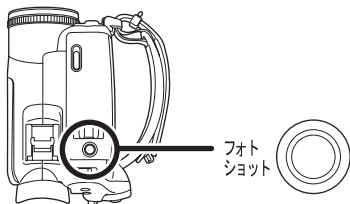
Set [LANGUAGE] >> [ENGLISH].

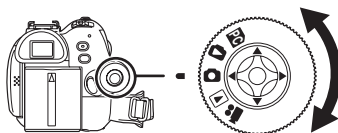
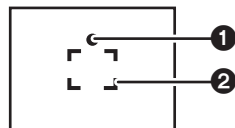
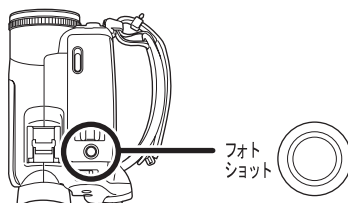
Recording on a tape

- **Set to Tape Recording Mode.**

1 Press the recording start/stop button to start recording.

2 Press the recording start/stop button again to pause recording.

Recording still pictures on a card while recording image onto a tape

You can record still pictures while recording image onto a tape.
- **Set to Tape Recording Mode.**

Press the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button fully while recording image onto a tape.

Recording still pictures onto a card (Photoshot)

- **Set to Card Recording Mode.**

1 Press the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button halfway in order to adjust focusing. (For auto focusing only)
- The iris/gain value is fixed and this camera focuses on the subject automatically.

❶Shutter chance mark
○ (The white lamp flashes.): Focusing
● (The green lamp lights up.): When in focus
No mark: When focusing is unsuccessful

- The shutter chance mark is indicated as follows when the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button is not pressed halfway. Please use it as a guide for recording.

● (The green lamp lights up.):
When in focus and a good picture can be recorded
○ (The White lamp lights up.):
Almost in focus

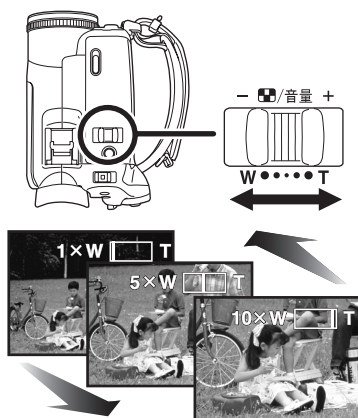
❷Focus area

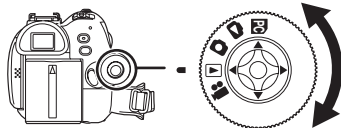
2 Press the [フォトショット] (PHOTO SHOT) button fully.

Quick guide (English) (Continued)

Zoom in/out function

You can zoom in up to 10×optically.
- **Set to Tape/Card Recording Mode.**

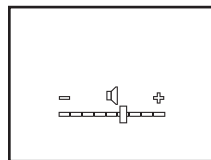
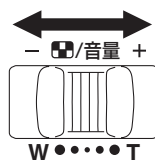
**Wide-angle recording (zoom out):
Push the [W/T] lever towards [W].
Close-up recording (zoom in):
Push the [W/T] lever towards [T].**

Playing back tape

- **Set to Tape Playback Mode.**

Operate with joystick.

▶/❚❚: Playback/Pause
◀◀: Rewind/Review playback (Reverts to playback with the ▶/❚❚ icon.)
▶▶: Fast forward/Cue playback (Reverts to playback with the ▶/❚❚ icon.)
■: Stop

■To adjust volume

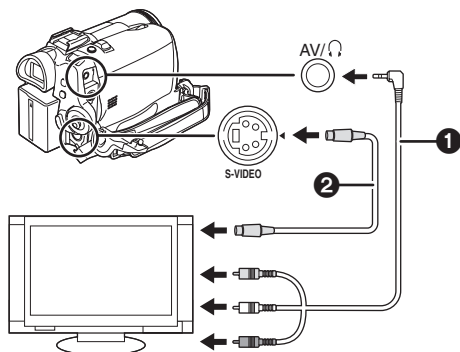
Adjust the speaker or headphone volume for playback.

Move the [– ⊞/ 音量 (VOLUME) +] lever to adjust the volume.

Towards [+]: increases the volume
Towards [–]: decreases the volume
(Nearer the bar to [+], larger the volume.)

Playback on TV

Images recorded by this camera can be played back on a TV.

● **Insert a recorded tape into this camera.**

1 Connect the movie camera and a TV.

- Connect the movie camera and a TV by using the AV cable ❶.
- If the TV has an S-Video terminal, then also connect an S-Video cable ❷ (optional). It allows you to enjoy more beautiful images.

2 Turn on this camera and set the mode dial to the Tape Playback Mode.

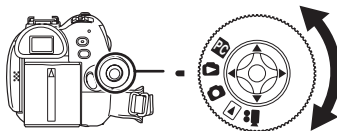
3 Select the input channel on the TV.

4 Move the joystick up to select the [▶/❚❚] icon to start playback.

- The image and audio are output on the TV.

5 Move the joystick down to select the [■] icon to stop playback.

Playing back card

● **Set to Picture Playback Mode.**

Operate with joystick.

▶/■ : Slide show (Plays back the still pictures on the card in order) start/ stop.

◀❚ : Plays back the previous picture.

❚▶ : Plays back the next picture.

その他

さくいん（アイウエオ順）

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

英・数字順

その他

仕様

■ デジタルビデオカメラ

電源	DC 7.9/7.2 V
消費電力	録画時 3.6 W(ファインダー使用時) 3.9 W(液晶使用時 明るさ : 標準)

信号方式	NTSC 日米標準信号方式
録画方式	Mini DV 方式（民生用デジタル VCR SD 仕様）
使用テープ	6.35 ミリ幅デジタルビデオテープ
録画時間	最大 80 分（SP）120 分（LP）（DVM80 使用時）
テープ速度	SP 時 :18.812 mm/ 秒　LP 時 :12.555 mm/ 秒
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCM デジタル記録 :16 bit(48 kHz/2ch)　12 bit(32 kHz/4ch)
撮像素子	CCD 固体撮像素子× 3（総画素 80 × 3、 有効画素　静止画約 53 万× 3、動画約 44 万× 3）
レンズ	自動絞り 10 倍電動ズーム F1.8（f = 2.45 ～ 24.5 mm、 35 mm 換算:テープ 44.7 ～ 447 mm、カード 41.1 ～ 411 mm） テレマクロ付き（フルレンジ AF）
早送り･巻き戻し	約 2 分 20 秒（DVM60 使用時）
フィルター径	37 mm
ズーム	光学 10 倍･デジタル 25 倍･スーパーデジタル 100 倍
モニター	2.5 インチ液晶モニター（約 11 万画素）
ファインダー	電子カラービューファインダー
マイク	ステレオマイクロホン（ズーム機能付）
スピーカー	20 mm 丸形 1 個
白バランス調整	自動追尾ホワイトバランス方式
標準被写体照度	1400 ルクス
最低照度	12 ルクス（カラーナイトビュー時　1 ルクス）
映像出力	1 Vp-p 75 Ω
S 映像出力	Y 出力 : 1 Vp-p 75 Ω C 出力 : 0.286 Vp-p 75 Ω
音声出力	316 mV　インピーダンス 600 Ω
ヘッドホン出力	77 mV 32 Ω 負荷時（AV ミニジャック兼用）

マイク入力	マイク感度 –50 dB（0 dB = 1 V/Pa 1 kHz） （ステレオミニジャック）
USB	カードリーダーライター機能（著作権保護対応無し） USB2.0 準拠（ハイスピード）、USB 端子 TYPE miniB PictBridge 対応
デジタルインターフェース	DV 入出力端子（IEEE1394、4pin）
フラッシュ	GN 4.0
外形寸法	幅 71 mm × 高さ 73 mm × 奥行き 123 mm
本体質量	約 420 g（バッテリー、テープ含まず）
使用時質量	約 500 g（付属のバッテリー、テープ：AY-DVM60 使用時）
推奨使用温度	0 ℃～ 40 ℃
許容相対湿度	10 %～ 80 %
バッテリー持続時間	15 ページを参照してください。

メモリー機能

記憶メディア	SD メモリーカード：32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
静止画記録方式	JPEG（DCF/Exif2.2 準拠）、DPOF 対応
記録画素数	1760 × 1320/1280 × 960 画素（MEGA）、 640 × 480 画素（VGA）

WEB カメラ

圧縮方式	Motion JPEG 準拠
記録画素数	320 × 240（QVGA）
フレームレート	約 6 fps

■ AC アダプター

電源	AC 100 – 240 V　50/60 Hz
入力容量	24 VA(AC 100 V 時)/32 VA(AC 240 V 時)
DC 出力	7.9 V　1.4 A(ビデオカメラ)
充電出力	8.4 V　0.65 A(充電)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

●修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!

●使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

> **保証期間:お買い上げ日から本体1年間**
> (「本体」にはソフトウェアの内容は含みません)

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

この説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	デジタルビデオカメラ
品　番	NV-GS150
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル(全国共通番号)

0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック
お客様ご相談センター

365日/受付9時~20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365** (パナは 365日)

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人/海外仕様商品(ツーリスト商品他)等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241(函館流通卸センター内)	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司 字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0904

この取扱説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検　**長年ご使用のデジタルビデオカメラの点検を！**

こんな症状はありませんか

・電源コードやプラグが異常に熱い
・煙が出たり、異常なにおいや音がする
・水などの液体や異物が入った
・映像が乱れたり、きれいに映らない
・その他の異常や故障がある

▼

このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	NV-GS150
販売店名	☎（　　）		
お客様相談窓口	☎（　　）		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒 571-8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号
システム事業グループ
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

F1104Ha0 (　　50 Ⓐ)